仕様

一般	形名……DV-P300 使用レーザー……半導体レーザー：波長　650nm (DVD) ……780nm (CD、VCD) 電源……AC100V、50/60Hz共用 消費電力……22W 質量……3.9kg 外形寸法……43.4(幅)×31.5(奥行)×9.8(高さ)cm 許容動作温度……+5℃～+35℃ 許容動作湿度……15～75%（結露のないこと）
コンポーネント映像出力端子〈1系統〉	Y信号……1Vp-p (75Ω) CB信号……0.7Vp-p (75Ω) CR信号……0.7Vp-p (75Ω) 出力端子……ピンジャック
S映像出力端子〈1系統〉(S2出力)	Y出力レベル……1Vp-p (75Ω) C出力レベル……286mVp-p (75Ω) 出力端子……S端子
映像出力端子〈1系統〉	出力レベル……1Vp-p (75Ω) 出力端子……ピンジャック
音声出力端子〈2系統〉	音声出力レベル……200mVrms(1kHz、−20dB) チャンネル数……2チャンネル 音声特性 周波数特性：CD：4Hz～20kHz (EIAJ) DVD：4Hz～22kHz（48K サンプリング） 4Hz～44kHz（96K サンプリング） SN比：110dB ダイナミックレンジ：100dB 全高調波ひずみ率：0.003% ワウ・フラッター：測定限界（±0.001%W.PEAK）以下 (EIAJ)
その他の端子	デジタル音声出力 (DTS/AC-3/MPEG2、LPCM、オフ切換可)……光コネクター 同軸端子
付属品	リモコン (DV-RM3)……1個 単4形乾電池 (R03)……2個 AVコード……1本 電源コード……1本

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

株式会社 日立製作所
〒105-8430　東京都港区西新橋2−15−12
電話 (03) 3502-2111

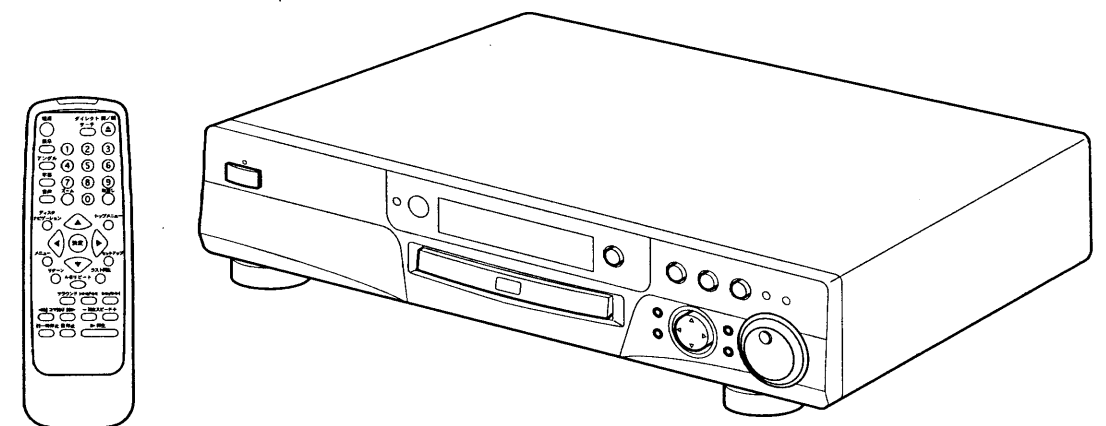
QR32171 Printed in TAIWAN　KK-T(HE)

HITACHI

日立DVDプレーヤー

形名

DV-P300

取扱説明書

このたびは日立DVDプレーヤーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用の前によくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と一緒に保管してください。

●業務用には対応していません。

もくじ

はじめに

準　備

基本操作

応用操作

設　定

ご参考

安全上のご注意

ご使用の前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈絵表示の例〉

 △記号は警告（注意）を促すことです。（この例は「感電注意」）

 ⊘記号は行為を禁止することです。（この例は「分解禁止」）

 ●記号は行為を強制することです。（この例は「電源プラグをコンセントから抜け」）

⚠警告

不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

● 表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

水にぬらさない

● 水場では本機を使用しないでください。
● 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
● 万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

電源プラグをコンセントから抜け

風呂場では使用しない

● 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

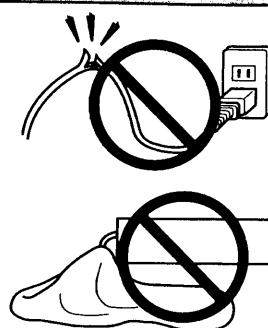
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない

● 本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

電源コードを傷つけない

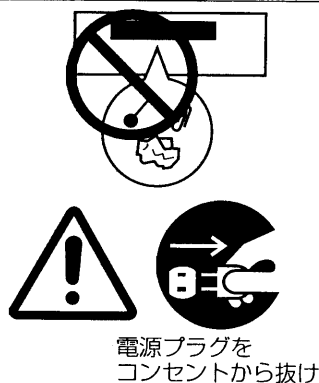
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードを加工しない

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら交換する

- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときには、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

改造しない
カバーを開けない

- 本機を改造すると火災・感電の原因となります。
- 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

異常なときは使わない

- 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

落としたり、キャビネットを破損しない

- 万一本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

雷が鳴るときは電源プラグには触れない

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

防じんキャップに注意する

- 光デジタル音声出力端子に取り付けてある防じんキャップを取り外した場合は、お子様が防じんキャップを誤って飲むことがないようにしてください。
- 防じんキャップは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

油煙や湯気が当たる場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

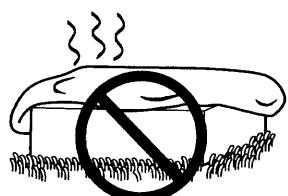
移動させるときは注意を！

- 移動させるときは、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから電源プラグをコンセントから抜き、テレビなどとの接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- 本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。
本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。

本機の上に乗らない

- 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

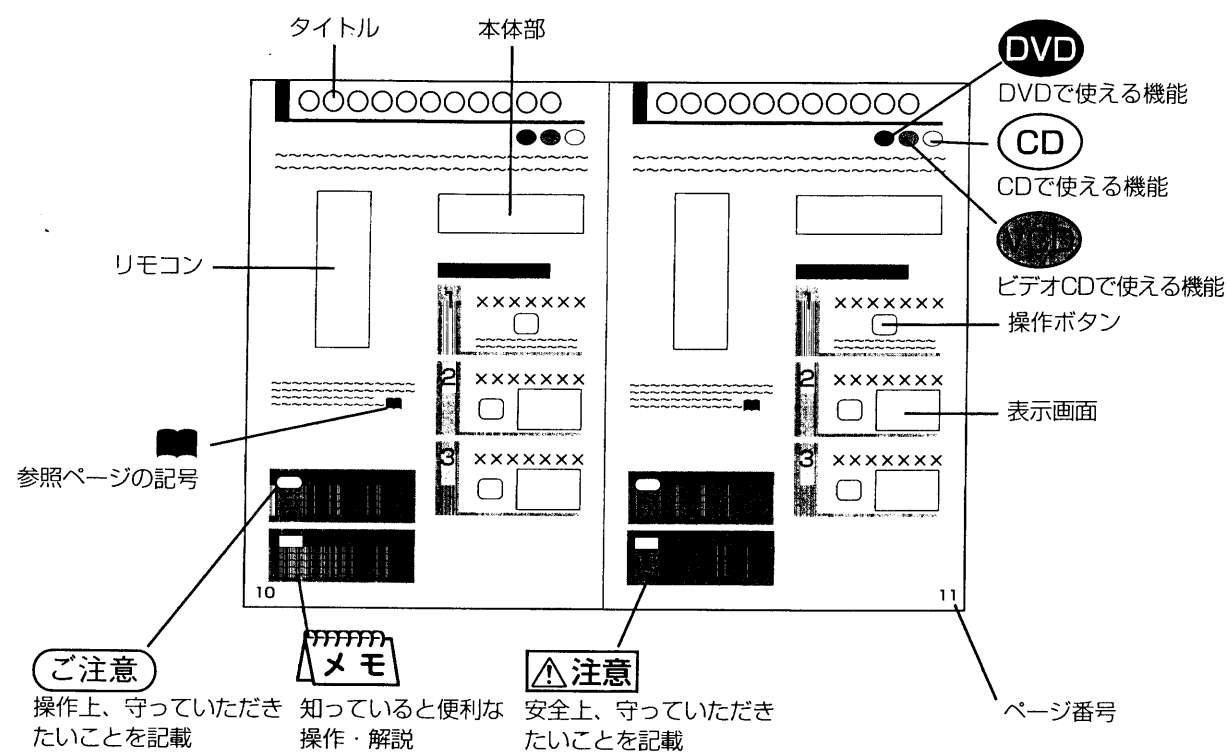
⚠注意

本機の上に重い物を置かない	●本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	
電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグのゴミやホコリにご注意！	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、いつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	電源プラグをコンセントから抜け
機器で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	
乾電池は機器の指示どおり正しく入れる	●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください。まちがえますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
長時間ご使用にならないときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。	電源プラグをコンセントから抜け
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	

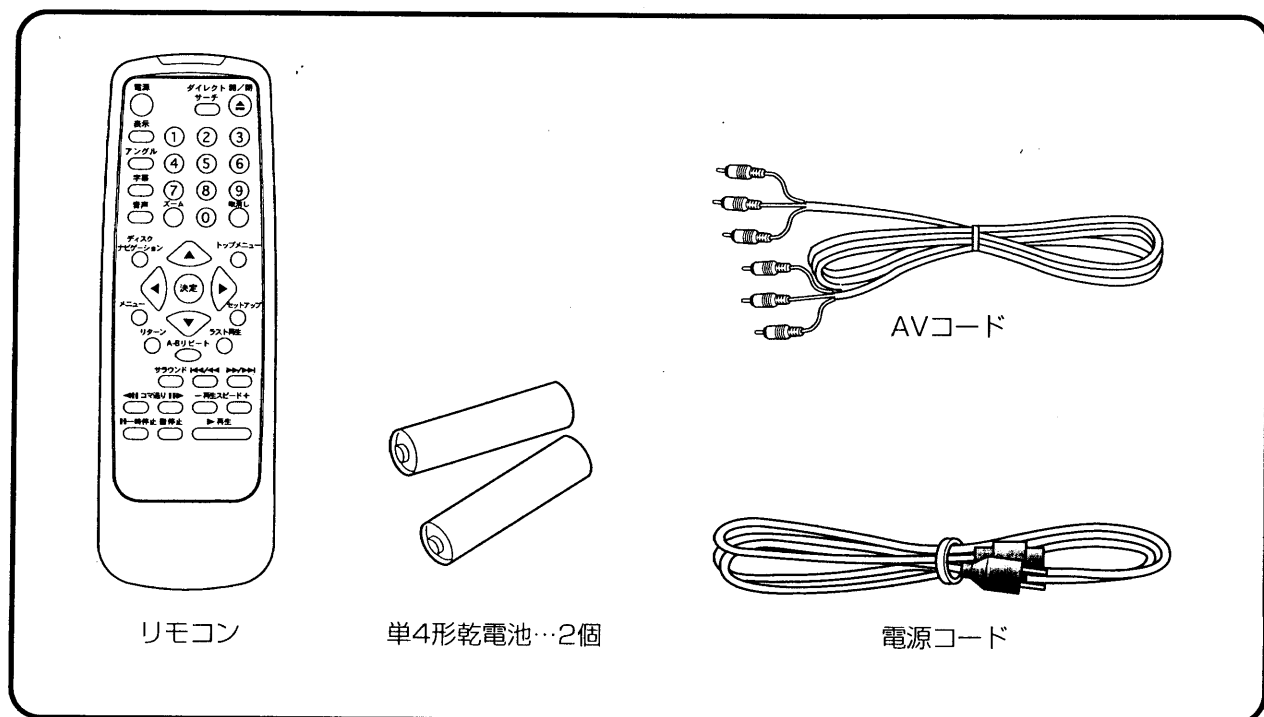
使用上のご注意

お手入れについて	●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害（機会損失による補償など）は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを閉めたままリモコンの開／閉 ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。
再生中は本機を絶対に動かさない	●再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。
結露について	●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。
その他の注意	●本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に〝ブー〞というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。 ●ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。 ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。 ●テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。 ●静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

本書の見かた

この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください。(ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です。)

付属品をご確認ください

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

リモコン　単4形乾電池…2個　AVコード　電源コード

特　長

簡単に見たい場面をサーチできるディスクナビゲーションシステム

2倍速ドライブによるスピーディーな操作性

ご注意 DVD再生時の操作上のご注意

本機はDVDの規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによってアングルや字幕が1種類しか入っていないものもあり、アングルや字幕の切り換えができないなど本書の記載通りに動作しないものもあります。本書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。

メモ

DVDは12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えて楽しむとか、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

ディスクについて

本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合しています。
下記以外のディスクは使用できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		再生時間
DVD	DVD		デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	12cm/片面	1層	約133分 4.7GB
		2層	約242分 8.5GB
	12cm/両面	1層	約266分 9.4GB
		2層	約484分 17GB
	DVD		デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	8cm/片面	1層	約41分
		2層	約75分
	8cm/両面	1層	約82分
		2層	約150分
ビデオCD	VIDEO CD 12cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大20分
CD	CD 12cm/片面		デジタル音声 最大74分
	CDシングル 8cm/片面		デジタル音声 最大20分

- ●左表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
- ●本機は左記の3種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- ●故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）は使用しないでください。
- ●ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因になります。
- ●DVDの再生時間は、平均記録レートが4.7Mbpsの場合です。

■ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音声用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

ご注意

●リージョンコードが日本地域番号である「2」を含んでいないDVDは再生できません。

ディスクの取り扱い

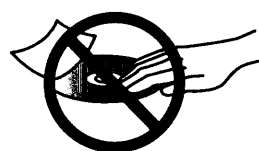
■次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。

■保管

●ディスクはプラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので置かないでください。
●ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

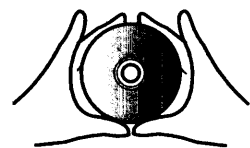
■ディスクのお手入れ

柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。
●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤なども使用できません。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、そのあと乾いた布で水気を拭きとってください。
●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ディスクにセロハンテープやレンタルのラベルなどのノリがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

■レンズクリーナーについて

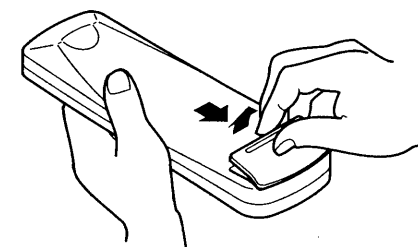
ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、保証とアフターサービス 51 をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

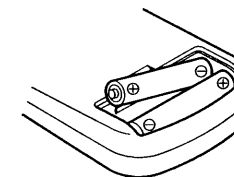
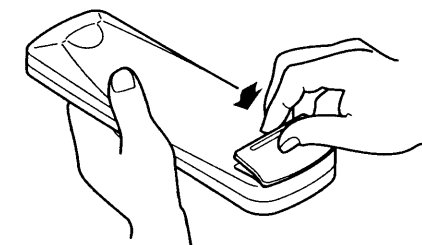
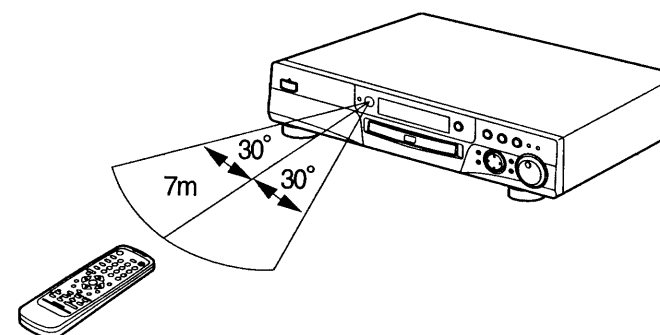
■ディスクの持ちかた

両手で持つ場合
ディスクの両端をはさんで持つ。

片手で持つ場合
中央の穴と外周部に指をかけて持つ。

リモコンの取り扱い

乾電池の入れかた

1 つまみを押しながら、ふたを開ける

2 乾電池（単4形）を入れる

付属の単4形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

3 ふたを閉じる

リモコンの取り扱い

●リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約7メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

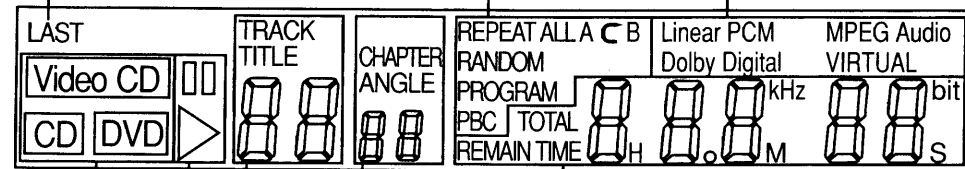
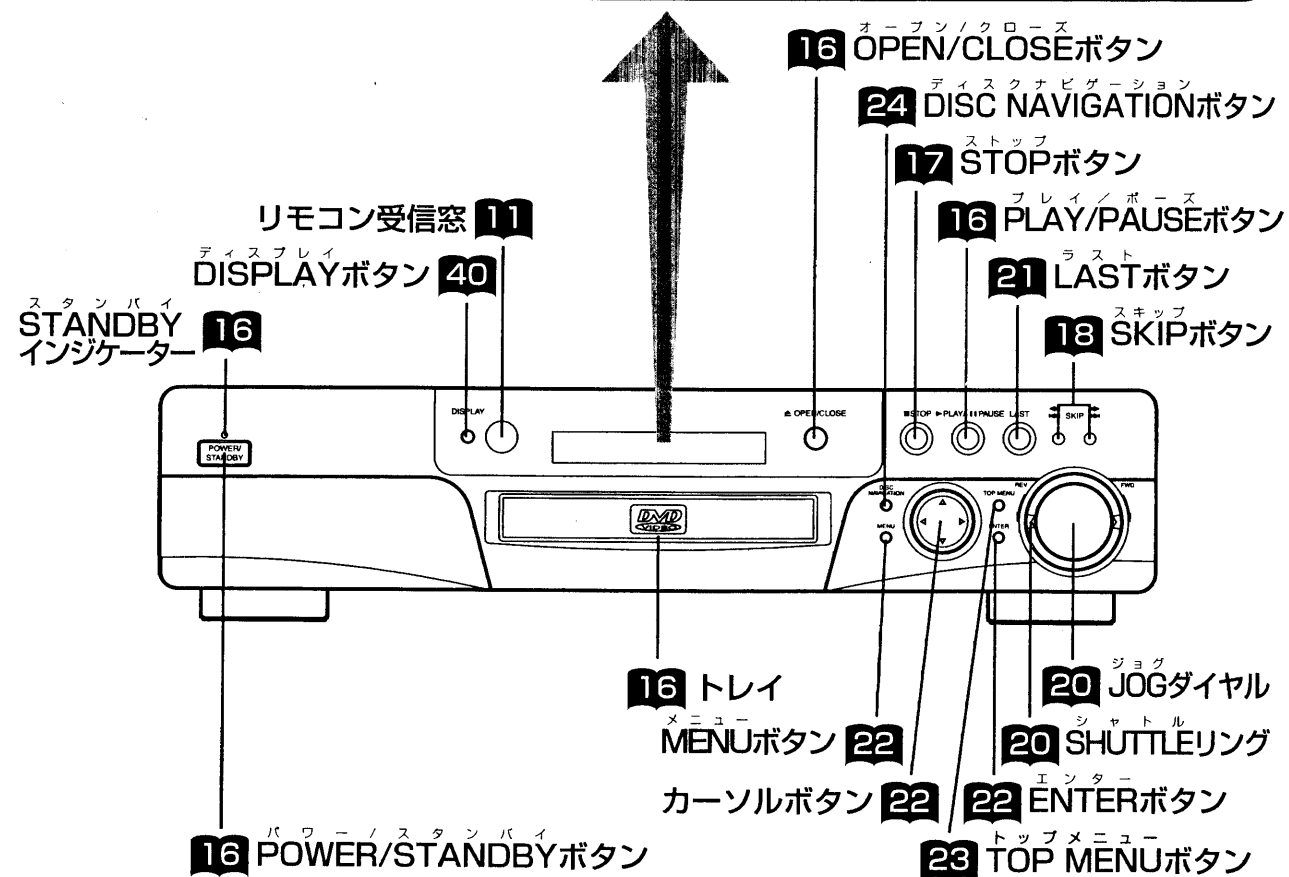
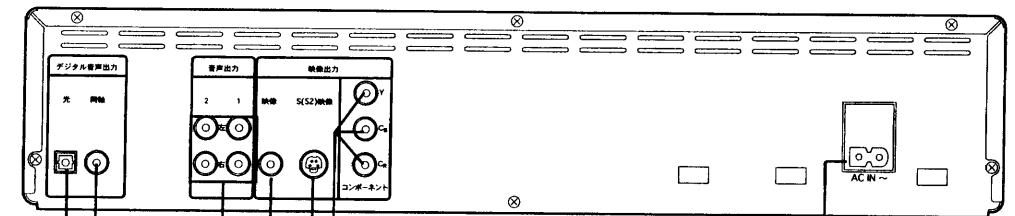
ご注意 リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなることがあります。光が直接当たらないようにご注意ください。

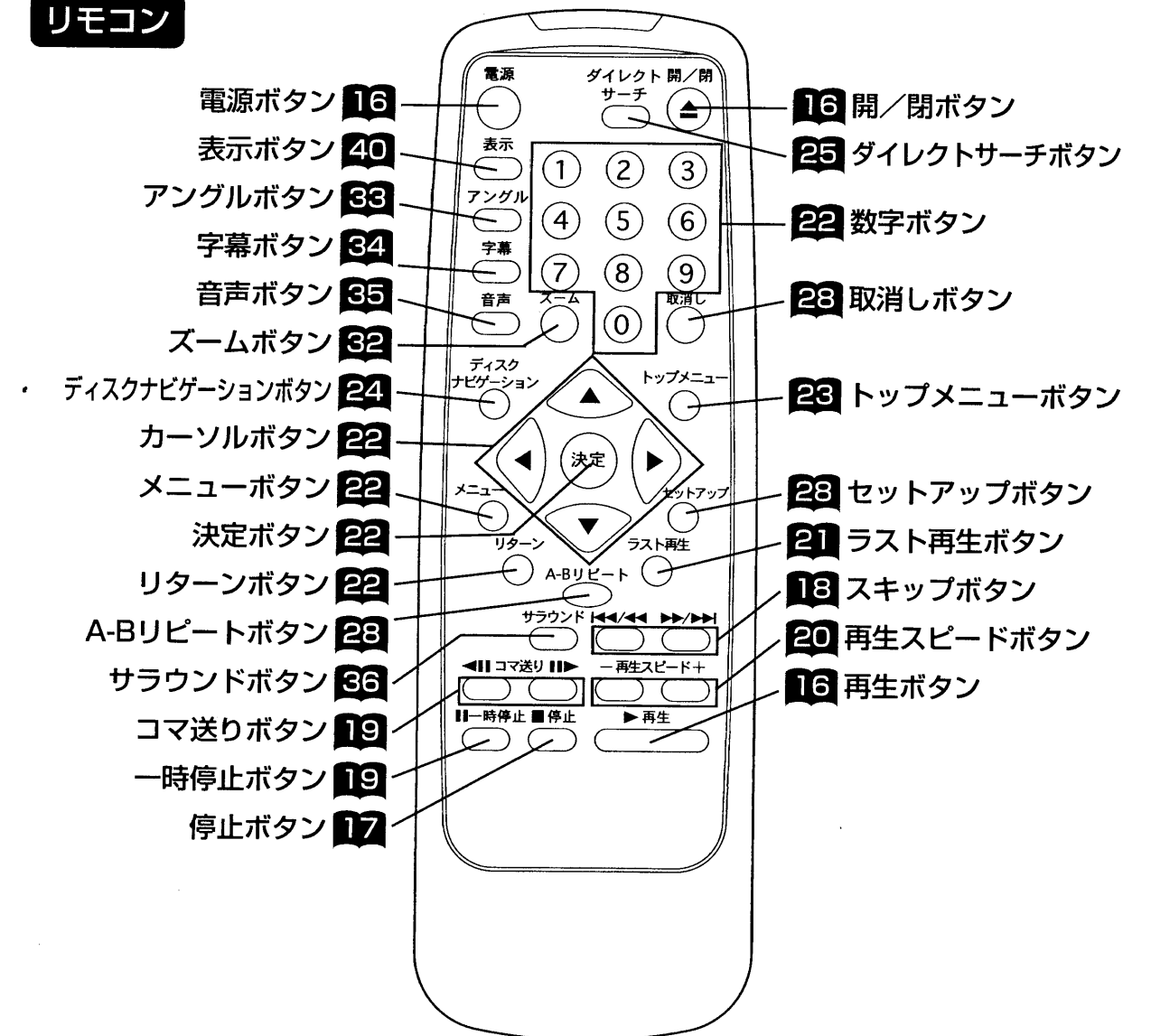
⚠注意 乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
●乾電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと乾電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

各部の名称

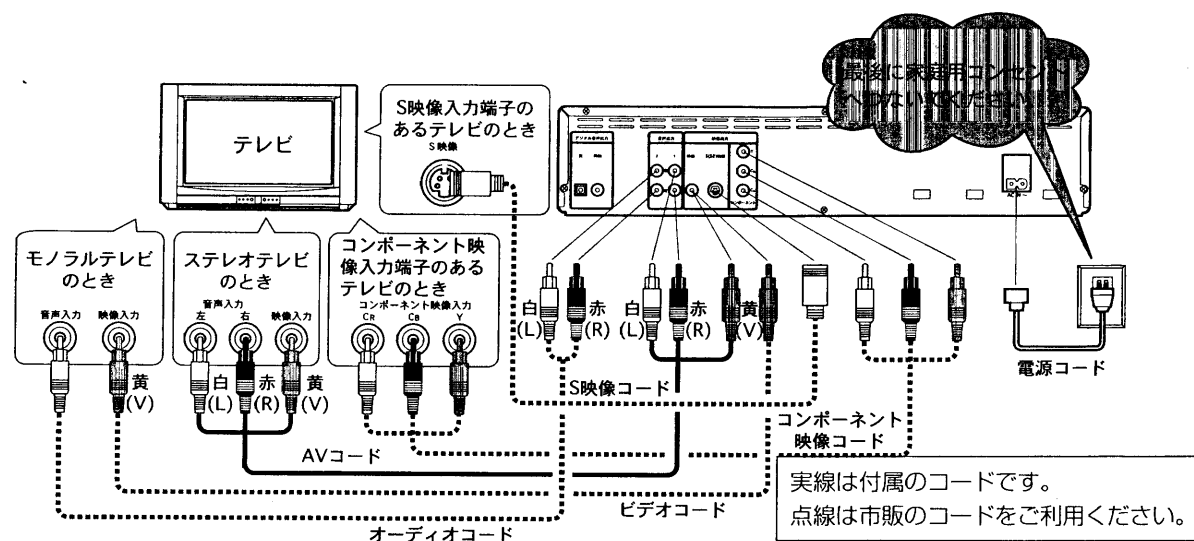
前　面

後　面

14 コンポーネント映像出力端子
14 S映像出力端子
14 映像出力端子
14 音声出力端子
15 同軸デジタル音声出力端子
15 光デジタル音声出力端子
14 電源コード接続端子

リモコン

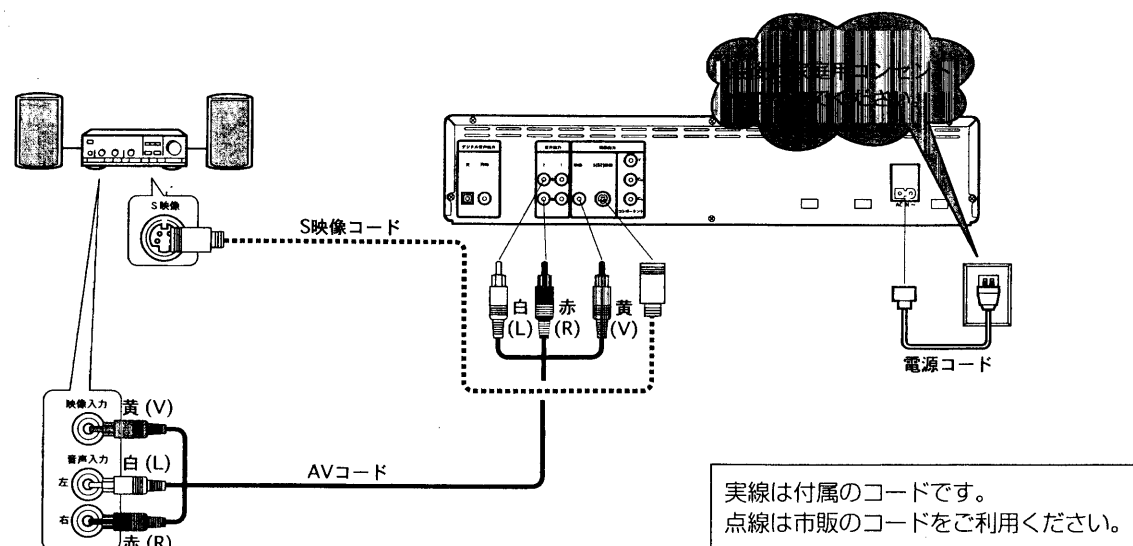
- 電源ボタン 16
- 表示ボタン 40
- アングルボタン 33
- 字幕ボタン 34
- 音声ボタン 35
- ズームボタン 32
- ディスクナビゲーションボタン 24
- カーソルボタン 22
- メニューボタン 22
- 決定ボタン 22
- リターンボタン 22
- A-Bリピートボタン 28
- サラウンドボタン 36
- コマ送りボタン 19
- 一時停止ボタン 19
- 停止ボタン 17
- 16 開／閉ボタン
- 25 ダイレクトサーチボタン
- 22 数字ボタン
- 28 取消しボタン
- 23 トップメニューボタン
- 28 セットアップボタン
- 21 ラスト再生ボタン
- 18 スキップボタン
- 20 再生スピードボタン
- 16 再生ボタン

他の機器と接続する

(ご注意)
- ●他の機器と組み合わせてご使用になるときには、それぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- ●接続するときは、各機器の電源を切ってから行ってください。

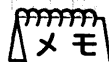
テレビと接続する

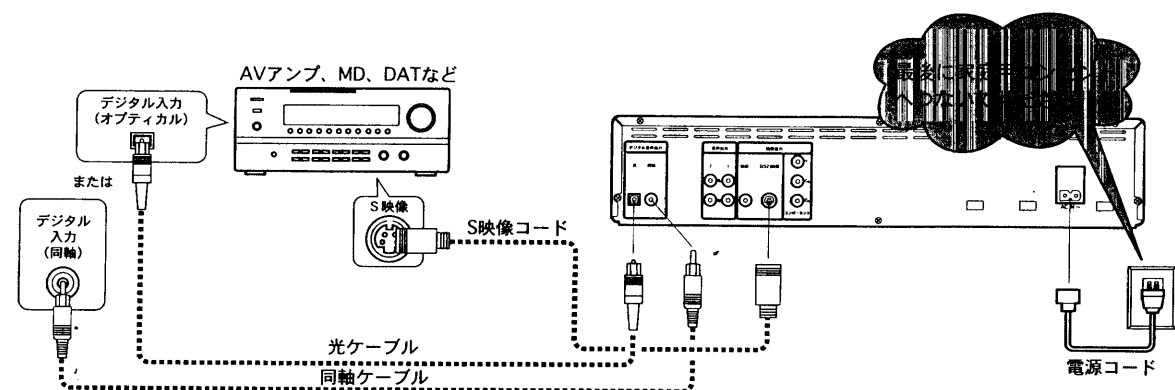
実線は付属のコードです。
点線は市販のコードをご利用ください。

- ●モノラルテレビと接続する場合は、別売りのオーディオ／ビデオコード（HPU-141AV）などを使って行ないます。
- ●本機のS映像出力は、ワイドテレビのワイドモードを自動的に切り換えるS2規格に対応しています。
- ●ワイドテレビに接続する場合は、セットアップ画面でTV出力設定をワイドTVに設定してください。 43

ステレオと接続する

実線は付属のコードです。
点線は市販のコードをご利用ください。

■ドルビープロロジック・デコーダー（内蔵アンプ）と接続する

ステレオがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。ドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには、ステレオの取扱説明書に従ってドルビープロロジック・サラウンドが聞けるように設定してください。

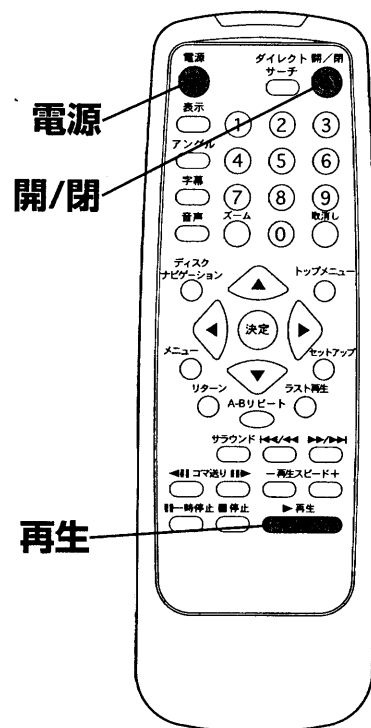
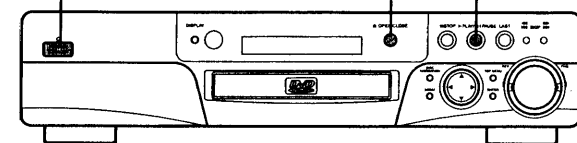
メモ

96kHz 24bitなどの高品位オーディオが記録されているDVDを再生する場合は、デジタル出力の設定をオフにすることをおすすめします。 42

デジタル端子付き機器と接続する

ドルビーデジタル入力端子のあるアンプと接続することによって、ドルビーデジタルサラウンドでお楽しみいただけます。

点線は市販のコードをご利用ください。

(ご注意)
- ●ドルビーデジタル（AC-3）のDVDをデジタル接続でMDやDATに録音するときは、デジタル音声出力の設定をLPCMにしてください。DVDがドルビーデジタル（AC-3）で記録されている場合は、DTS/AC-3/MPEG2のままでは、ノイズを録音してしまいます。 42
- ●ドルビーデジタル非対応のアンプのデジタル入力端子に光ケーブルや同軸ケーブルを接続した場合は、デジタル音声出力の設定をDTS/AC-3/LPCMにしないでください。突然大音量が出てスピーカーを破損することがあります。 42
- ●CDやDVDをデジタル接続でMDやDATに録音する場合、曲番が正しく記録されないことがあります。録音後MDやDATで曲番を編集してください。
- ●DVDによってはデジタル接続での録音ができないものがあります。
- ●MDにサンプリングレートコンバーターがないとDVDからのデジタル録音はできません。
- ●本機はDTSデコーダーを内蔵していませんので、DTS音声選択時はアナログオーディオ出力はありません。

再生する

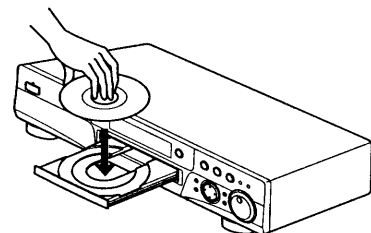
DVD VCD CD

電源プラグをコンセントに差し込むとSTANDBYインジケーターが赤く点灯します。

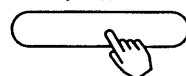
1 電源ボタンを押す

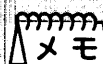
●本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
●STANDBYインジケーターが赤（STANDBY）から緑（ON)に変わります。

2 開／閉⏏ボタンを押す

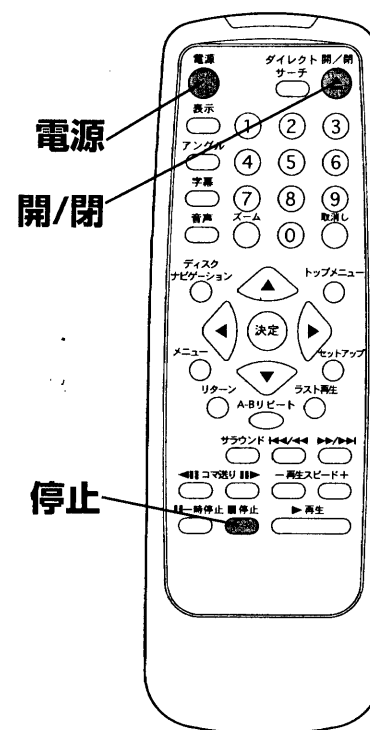
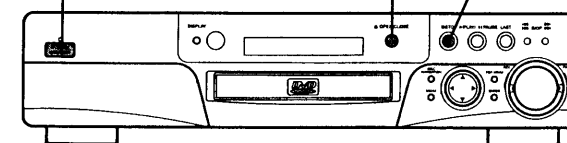
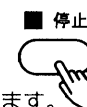
●本体ではOPEN/CLOSE⏏ボタンを押します。
●トレイが出てきます。

3 ディスクを置く

●レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

4 再生▶ボタンを押す

●本体ではPLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押します。
●自動的にトレイが閉まり、ディスクの種類が確認されると表示窓に ▶ が表示され、再生が始まります。
●ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。そのようなときは、22をご参照ください。

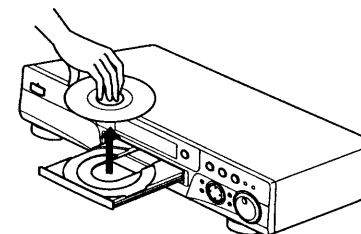
メモ

ディスクを入れると、ディスクの種類の確認とディスクごとに最適な制御をするための学習動作をします。この間（約15秒)、表示窓に Video CD 、CD 、DVD が同時に点灯します。確認と学習が終わると、Video CD 、CD 、DVD の内のひとつが点灯します。

終了する

DVD VCD CD

1 停止■ボタンを押す

●本体ではSTOP■ボタンを押します。
●再生が終わり、停止状態になります。

2 開／閉⏏ボタンを押す

●本体ではOPEN/CLOSE⏏ボタンを押します。
●トレイが出てきます。

3 ディスクを取り出す

4 電源ボタンを押す

●本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
●トレイが閉まり、電源が切れてSTANDBYインジケータが緑（ON）から赤（STANDBY）に変わり、STANDBY状態になります。

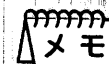
■DVDやビデオCDのつづきから見るには

DVDやビデオCDでは途中まで見たあと、つづきから見ることができます。詳しくは、21をご参照ください。

■再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタン、または本体のPLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押します。このとき、表示窓に❚❚が表示されます。
もう一度一時停止❚❚ボタン、または再生▶ボタン、本体ではPLAY/PAUSE▶/❚❚ボタンを押すと、一時停止したところから再生が始まります。

●DVD、ビデオCDでは、静止画になります。
●約20分間一時停止状態がつづくと自動的に停止状態になります。

メモ

停止状態が約30分間つづくと、自動的に電源が切れてSTANDBY状態になります。

チャプター／トラックを進める／戻す

DVD VCD CD

ディスクを再生中に次のチャプター／トラックへ進ませたり、前のチャプター／トラックへ戻したりすることができます。

次のチャプター／トラックへ進める

スキップ▶▶/▶▶|ボタンを押す

●本体ではSKIP ▶▶/▶▶|ボタンを押します。
●ボタンを押すごとに次のチャプター／トラックに進みます。
●ボタンを押しつづけると、早送りになります。

前のチャプター／トラックへ戻す

スキップ|◀◀/◀◀ボタンを押す

●本体ではSKIP |◀◀/◀◀ ボタンを押します。
●1度押すと再生しているチャプター／トラックの初めに戻ります。さらに押すと前のチャプター／トラックに戻ります。
●ボタンを押しつづけると、早戻しになります。

早送りをする

スキップ▶▶/▶▶|ボタンを押しつづける

▶▶/▶▶|

●本体ではSKIP ▶▶/▶▶| ボタンを押しつづけます。
●目的のところまできたらボタンを離します。
つづきを再生します。

早戻しをする

スキップ|◀◀/◀◀ボタンを押しつづける

|◀◀/◀◀

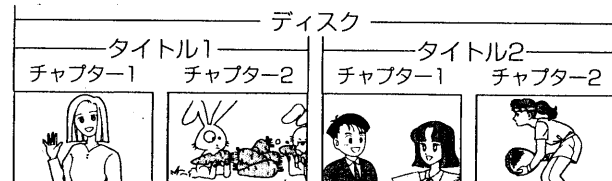
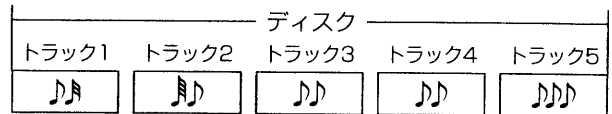
●本体ではSKIP |◀◀/◀◀ ボタンを押しつづけます。
●目的のところまできたらボタンを離します。
つづきを再生します。

■タイトル、チャプター、トラックについて

DVDでは、ディスクの中をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。ビデオCD、CDでは、ディスクの中をトラックで分けています。

DVDのとき

ビデオCD、CDのとき

ディスク
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

ご注意

●DVDの場合、これらの操作は、タイトル間をまたいで行うことはできません。

メモ

●ビデオCDの場合、PBC（プレイバックコントロール）がオフのときに、スキップボタンでトラックを進めたり戻したりすることができます。PBCがオンのときは、PBCに従った動作をします。
●再生中にスキップなどの操作をすると、画面にT：2、C：5などと表示されます。Tはタイトル、またはトラック、Cはチャプターのことです。数字は再生しているタイトル、トラック、チャプターの番号です。

静止画／コマ送りにする

DVD VCD

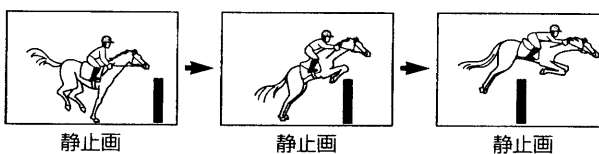
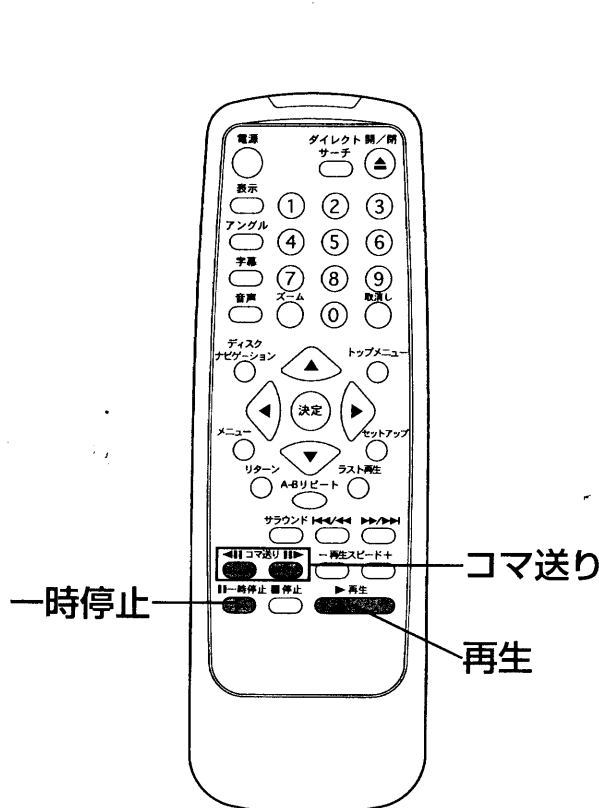
ディスクを再生中に映像を止めて見たり（静止画）、1コマずつ見たり（コマ送り）することができます。

PLAY/PAUSE

一時停止　コマ送り　再生

静止画再生（映像を止めて見る）

一時停止❚❚ボタンを押す

●表示窓に❚❚が表示され、静止画になります。
●本体ではPLAY/PAUSE ▶/❚❚ ボタンを押します。
●コマ送り ◀❚❚ ❚❚▶ ボタンでも静止画になります。

❚❚▶ ボタンを押すごとに1コマずつ進みます。
（◀❚❚ボタンを押すと約0.5秒前のコマに戻ります。）

ご注意

●DVDの場合、チャプターから前のチャプターへコマ戻しはできません。
●コマ送り／戻しのコマの間隔は、ばらつくことがあります。

メモ

●静止画再生中、コマ送り再生中の音声は聞こえません。
●ディスクによっては一時停止ができないディスクもあります。その場合は⃠マークが画面に表示されます。
●スクリーンセーバーをONに設定してあるときに5分間静止画再生をしていると、スクリーンセーバーの画面になります。いずれかの操作ボタンを押すと、静止画に戻ります。 43
●DVDの静止画再生中に画面が揺れることがあります。この場合、セットアップメニューの一時停止画像の設定をフレッカーレスにしてください。

コマ送り再生（映像を1コマずつ見る）

静止画の状態からコマ送り❚❚▶ボタンを押す

●コマ送り ❚❚▶ ボタンを押すごとに1コマずつ進みます。
●コマ送り ◀❚❚ ボタンを押すと約0.5秒前のコマに戻ります。

普通の再生に戻す

再生▶ボタンを押す

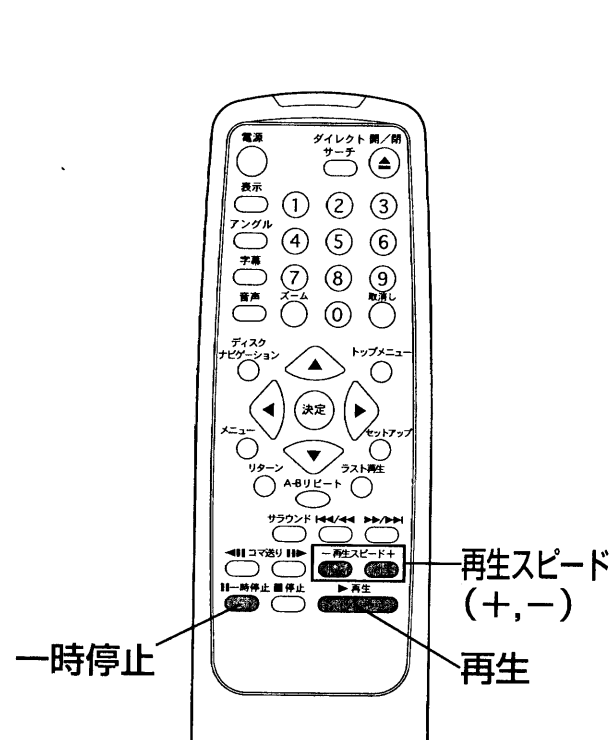
●本体ではPLAY/PAUSE ▶/❚❚ ボタンを押します。
●一時停止❚❚ボタンでも操作できます。

速さを変えて再生する

DVD VCD CD

速さを変えて再生することが簡単にできます。

PLAY/PAUSE　JOG

SHUTTLE

リモコンで操作する

静止画再生中、または再生中に再生スピード（+,−）ボタンを押す

−　再生スピード＋

●ボタンを押すごとに再生速度が変わります。

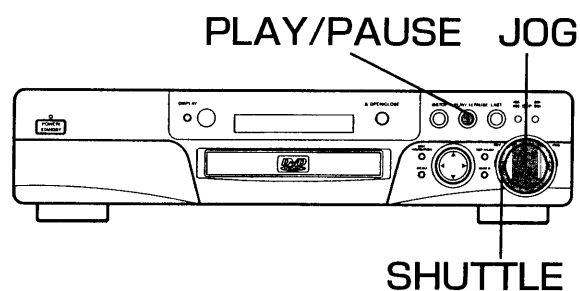
	逆転再生								早送り			
DVD、ビデオCD	30倍速	10倍速	5倍速	2倍速	1倍速	静止画	1/8速（スロー）	1/2速（スロー）	1倍速（ノーマル再生）	2倍速	5倍速	10倍速	30倍速
CD	30倍速	20倍速	10倍速	5倍速	1倍速	一時停止			1倍速	5倍速	10倍速	20倍速	30倍速

⊟ ←――――――――――→ ⊞

普通の再生に戻す

再生 ▶ボタンを押す

▶ 再生

●本体ではPLAY/PAUSE ▶/II ボタンを押します。

JOGダイヤルで操作する

1 再生中に一時停止IIボタンを押す

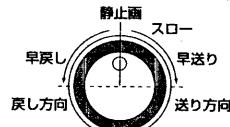
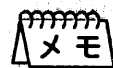
II 一時停止

●本体ではPLAY/PAUSE ▶/II ボタンを押します。
●静止画になります。

2 JOGダイヤルを回す

ゆっくり回す …コマ送りをします。
少し早く回す …スロー再生をします。
早く回す ………ノーマル再生をします。
●逆転スロー再生はできません。
●コマ送りについては 19 をご参照ください。
●CDでは操作できません。

SHUTTLEリングで操作する

静止画再生中、または再生中SHUTTLEリングを回す

●30倍速まで早送り、早戻しをすることができます。
●リングを操作した後は、静止画になります。続けて見るときは再生ボタンを押します。

メモ
●DVDとビデオCDの逆転再生および5倍速以上の早送りはとびとびの映像になります。
●ノーマル再生以外の再生速度は目安です。

つづきから見る（ラスト再生）

DVD VCD CD

前回のつづきから再生することができます。
再生を停止したところを最大16枚まで自動的に記憶します。

メモ
●停止位置を記憶しているディスクをトレイにのせてラスト再生ボタン（本体ではLASTボタン）を押すと、自動的にラスト再生をします。
●停止位置を記憶したディスクでも、再生▶ボタン（本体ではPLAY/PAUSE ▶/II ボタン）で再生すると、ディスクの始めから再生します。
●停止位置を記憶したディスクを再生すると、LAST表示が約1分間点滅します。点滅中は、停止■ボタン（本体ではSTOP■ボタン）を押して停止しても、新しい停止位置を記憶しません。前回の記憶を保ちます。初めて再生するディスクの場合、LAST表示は点滅しませんが、約1分再生してからでないと停止させても位置を記憶しません。
●ディスクの枚数が16枚を超えたときは、古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●ディスクによっては、ラスト再生が正しく動作しない場合があります。
●DVDの場合、ディスクに時間情報がないときは、停止したチャプター番号を記憶します。ラスト再生すると、停止したチャプターの始めから再生します。

つづきから見る

停止したところを記憶しているディスクをセットすると、表示窓にLASTが表示されます。

LAST表示が点灯しているとき、停止中にラスト再生ボタンを押す

ラスト再生

●本体ではLASTボタンを押します。
●前回再生を停止したところから再生が始まります。
●LAST表示が点滅しているときは、停止■ボタンを押して停止させてからラスト再生ボタンを押します。
●本体では、STOP■ボタンを押して停止させてからLASTボタンを押します。

記憶させる

停止■ボタンを押して再生を停止する

■ 停止

●本体ではSTOP■ボタンを押します。
●停止した場所を自動的に記憶します。
●ディスクを取り出しても、電源を切っても、記憶は消えません。

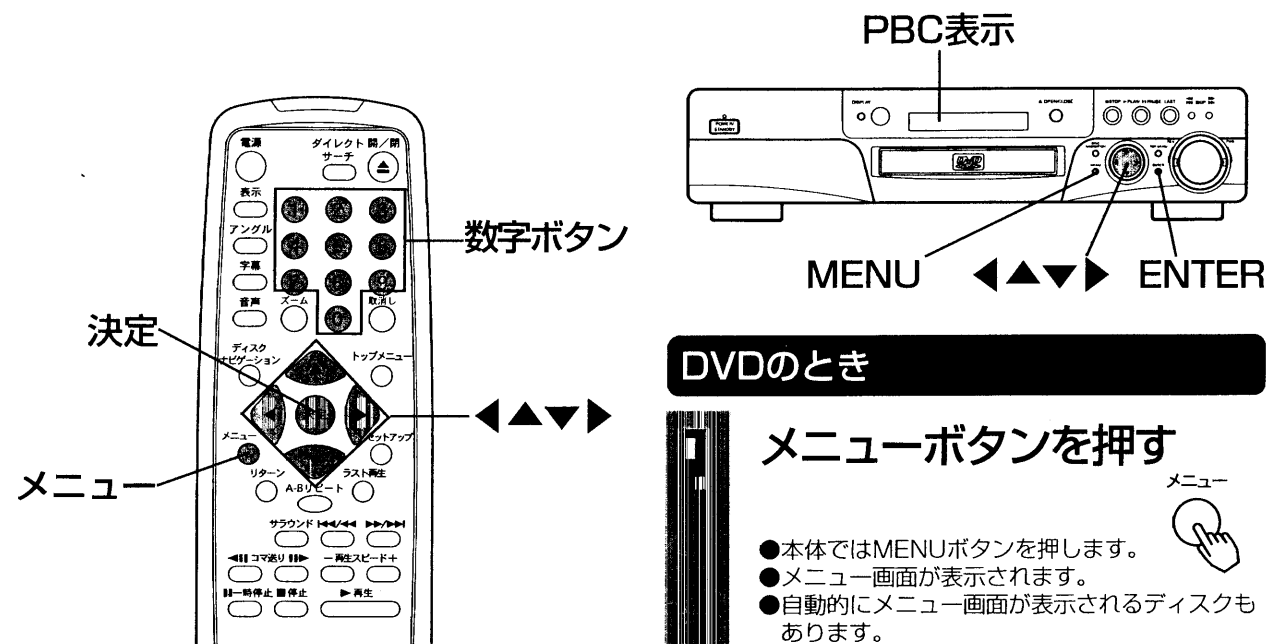
■自動続き再生機能について

ディスクを入れたまま電源を切ったとき自動続き再生がオンに設定してあると、電源ボタンを押し、電源を入れたとき、前回再生を停止したところから自動的に再生が始まります。43

ディスクのメニュー画面から再生する

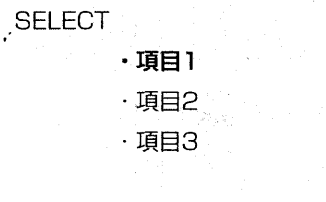
DVD VCD

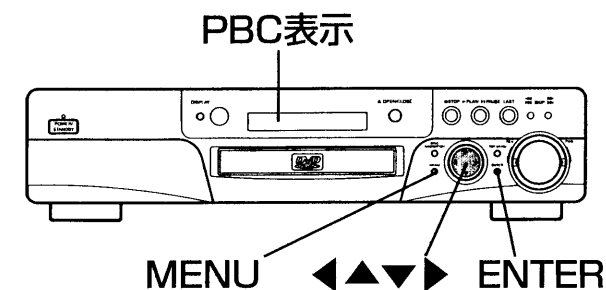
DVD、ビデオCDでは、ディスクによってメニュー画面が記録されているものがあります。メニュー画面から再生したい項目、表示したい字幕言語、聞きたい音声言語などが選べます。

PBC表示
MENU ◀▲▼▶ ENTER

PBC対応ビデオCDのとき

1 PBC対応のビデオCDを再生する

●メニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンで項目を選ぶ

SELECT
・項目1
・項目2
・項目3

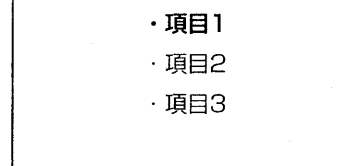
●数字ボタンを押すと、画面にSELECTが表示され、項目が決定します。
●数字ボタンを押してもSELECTが表示されないとき決定ボタンを押してください。
●ビデオCDによっては、再生▶ボタン、スキップ▶▶/▶▶|、|◀◀/◀◀ボタン、リターンボタンで操作できるものもあります。リターンボタンの操作を↶マークで表示するビデオCDもあります。
●再生中にメニュー画面に戻るにはリターンボタンを押します。
●ビデオCDによっては、3桁の数字を入力することがあります。この場合は、数字を1桁入力するごとに決定ボタンを押してください。

DVDのとき

1 メニューボタンを押す

メニュー

●本体ではMENUボタンを押します。
●メニュー画面が表示されます。
●自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。
●メニュー画面はディスクによって異なります。

2 ◀▲▼▶ボタンで項目を選ぶ

・項目1
・項目2
・項目3

●DVDによっては、リモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

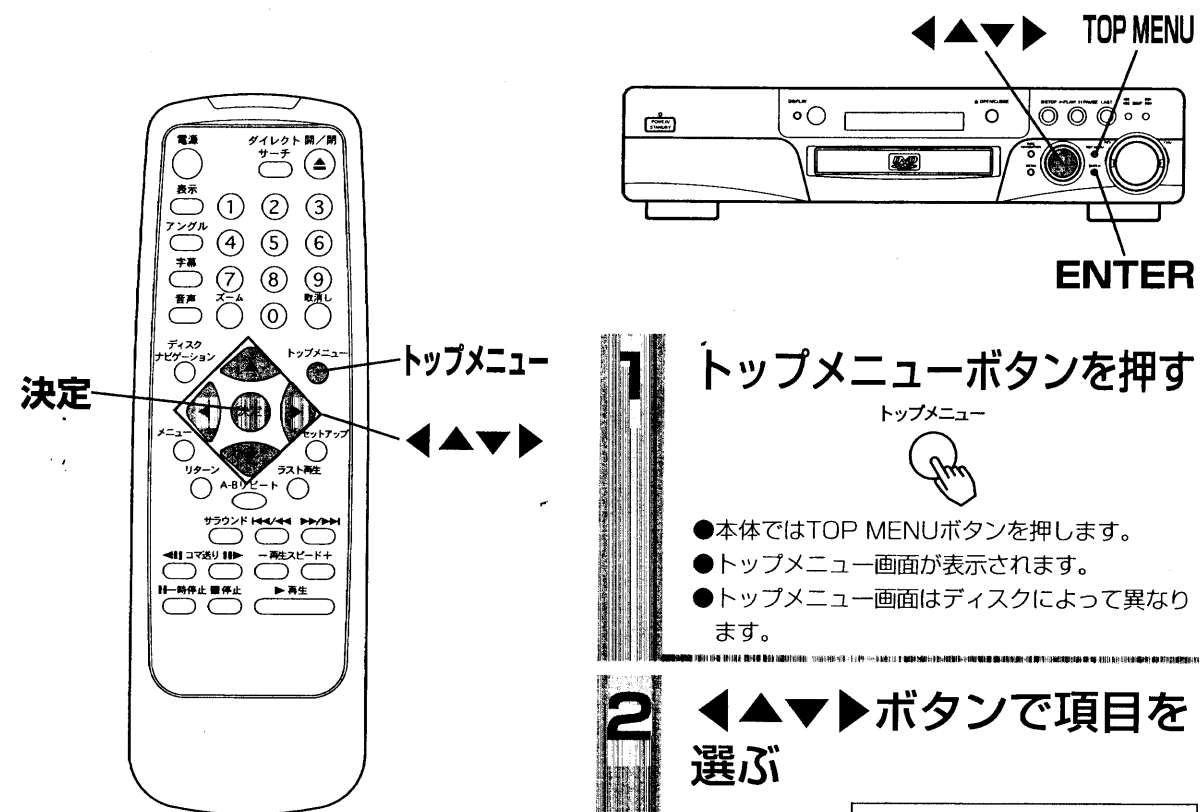
●本体ではENTERボタンを押します。
●項目が決定します。
●以下メニューに従って操作します。

メモ

●DVDによっては、メニューボタンでメニュー画面を呼び出せない場合があります。
メニューボタンでメニュー画面を呼び出せないときは、トップメニューボタンを押してください。23
●DVDによっては、メニューもトップメニューもない場合があります。
●PBC対応ビデオCDでは表示窓にPBCが表示されます。
●ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生したとき、メニューに従った操作以外の機能は働きません。
●PBC機能を使わないで再生するときはメニューボタンを押します。表示窓のPBCは消えます。このとき、メニュー画面などは再生できません。PBCに戻すには、もう一度メニューボタンを押します。

トップメニュー画面から再生する

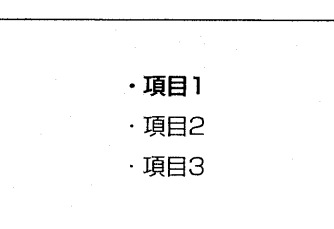
DVD

DVDには、複数のタイトルを記録し、トップメニューを備えたディスクがあります。この場合は、トップメニュー画面から再生すると便利です。

1 トップメニューボタンを押す

トップメニュー

●本体ではTOP MENUボタンを押します。
●トップメニュー画面が表示されます。
●トップメニュー画面はディスクによって異なります。

2 ◀▲▼▶ボタンで項目を選ぶ

・項目1
・項目2
・項目3

●DVDによっては数字ボタンで選べるものがあります。

3 決定ボタンを押す

●本体ではENTERボタンを押します。
●項目が決定します。
●以下メニューに従って操作します。

メモ

●ディスクによっては、操作ができないものがあります。
●ディスクによっては、メニューボタンやトップメニューボタンを押しても同じ画面を表示するものがあります。

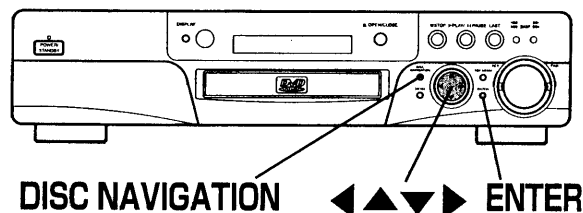
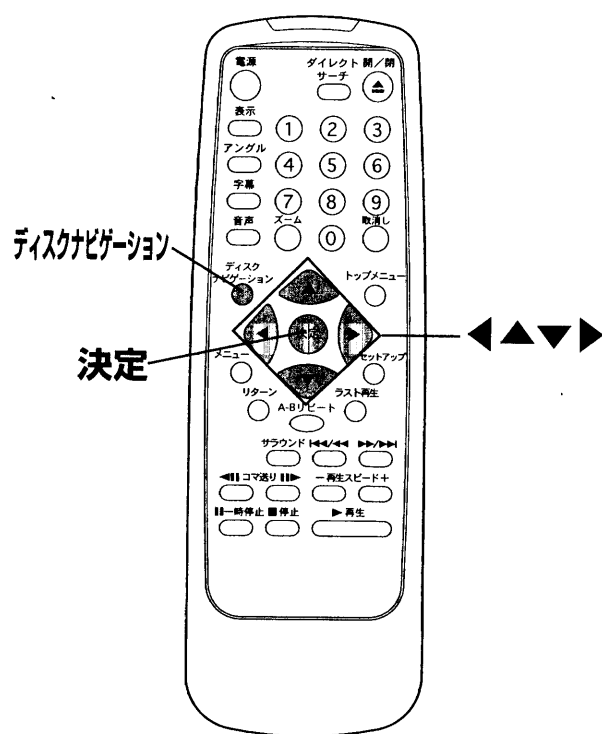
ディスクナビゲーション

DVD VCD

ディスクナビゲーション機能は、ディスクに記録されている各チャプター（DVD）／トラック（ビデオCD）の先頭画面を表示することができます。

ディスクナビゲーション

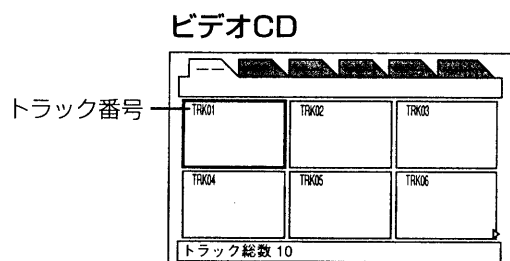
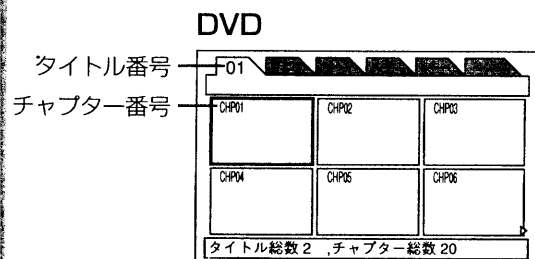
決定

◀▲▼▶

1 ディスクナビゲーションボタンを押す

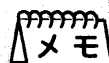
ディスク ナビゲーション

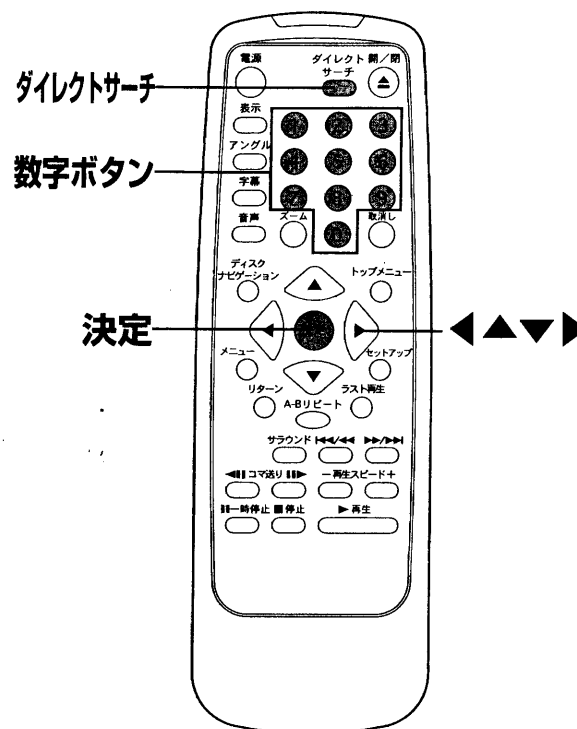
●本体ではDISC NAVIGATIONボタンを押します。
●各チャプター／トラックの先頭画面が表示されます。
（チャプター、トラックによっては表示されないものがあります。）

2 ◀▲▼▶ボタンでチャプター／トラックを選ぶ

●選んでいる番号の背景が赤で表示されます。

3 決定ボタンを押す

●本体ではENTERボタンを押します。
●再生が始まります。
●再生▶ボタンでも再生が始まります。

メモ

●選択を右端へ移動させてさらに▶ボタンを押すと次のページが表示されます。選択を左端へ移動させてさらに◀ボタンを押すと前のページに戻ります。
●他のタイトルを表示したいときは、▲ボタンでタイトル番号を選び、◀▶で表示したいタイトル番号を選びます。
●もう一度ディスクナビゲーションボタンを押すと、この機能は解除され、停止状態になります。
●ビデオCDでディスクナビゲーション機能を使うとPBCが自動的に解除されます。22

ダイレクトサーチ（タイトル／チャプター／トラック）

1 ダイレクトサーチボタンを押す

ダイレクト サーチ

●モード表示画面が表示されます。

2 ▶ボタンでタイトル／チャプター／トラックを設定する

●選ばれると文字列が赤くなります。

ビデオCD、CDのとき

●タイトル番号やトラック番号の分母は記録されている総タイトル数、総トラック数です。

例1．タイトルの3を選ぶとき

例2．タイトルの10を選ぶとき

●DVDのときは、さらに▶ボタンでチャプターの位置を選び、数字ボタンでチャプターを設定します。

●チャプター番号の分母は、指定したタイトルに含まれる全チャプター数です。

3 決定ボタンを押す

●指定したタイトル／チャプター／トラックの画面から再生します。
●再生▶ボタンでも再生が始まります。
●取り消したいときは、取消しボタンを押します。

メモ

●DVDで再生中にタイトルを指定しないでチャプターを指定すると、現在再生中のタイトルの中のチャプターの意味になります。タイトルしか指定しなければ、そのタイトルの始まりをサーチします。

ご注意

DVDで停止中にチャプターサーチをする場合は、必ずタイトル番号も指定してください。

ダイレクトサーチ（タイム）

DVD VCD CD

1 ダイレクトサーチボタンを押す

ダイレクト
サーチ

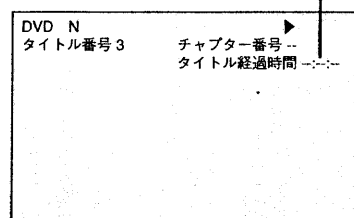
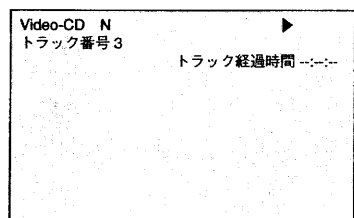
●モード表示画面が表示されます。
●タイトル／トラック番号を入力する。25

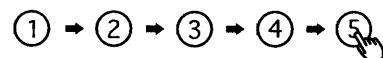
2 ダイレクトサーチボタンで時間表示位置を選ぶ

●選ばれると時間表示が00：00：00になります。

DVDのとき　時間表示位置

ビデオCD、CDのとき

Video-CD N
トラック番号3
トラック経過時間 --:--:--

3 数字ボタンで時間を設定する

例．1：23：45を選ぶとき

① ➡ ② ➡ ③ ➡ ④ ➡ ⑤

数字ボタンを押すごとに、次のように表示されます。

00：00：01
00：00：12
⋮
01：23：45

4 決定ボタンを押す

●指定したタイトル／トラックの指定した時間の画面から再生します。
●再生▶ボタンでも再生が始まります。
●取り消したいときは、取消しボタンを押します。

メモ

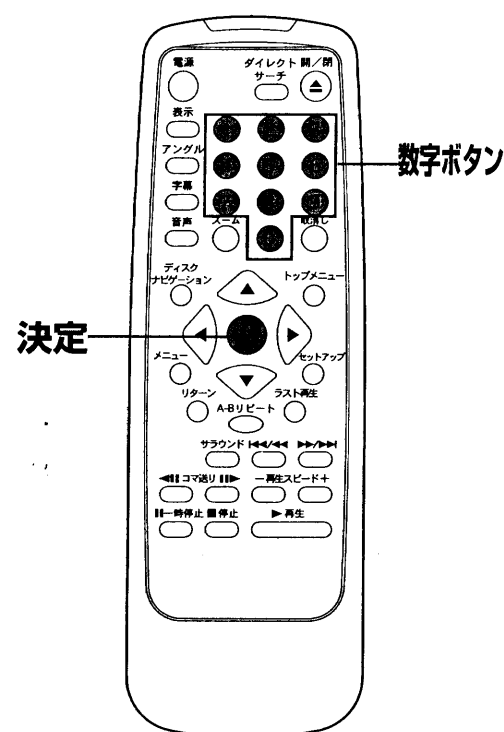
●時間は指定するタイトル、トラックの始めからの時間です。
●再生中にタイトル／トラックを指定しないで時間を入力すると、現在再生中のタイトル、トラックの始めからの時間になります。

ご注意

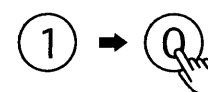
●DVDで停止中にタイムサーチをする場合は、必ずタイトル番号も指定してください。
●ビデオCD、CDで停止中にタイムサーチをする場合は、必ずトラック番号も指定してください。

CD、ビデオCDのダイレクトサーチ（トラック／タイム）

VCD CD

CDは、テレビ画面を見なくても、本機の表示窓だけで操作できます。
ビデオCDは、PBC機能を使わない場合、CDと同じように操作できます。

1 数字ボタンで直接トラック番号を選ぶ

例1．トラックの3を選ぶとき

例2．トラックの10を選ぶとき

●ボタンを押し間違えた場合は、取消しボタンを押すと消去されます。また、数字ボタンで再入力すると、上書きします。

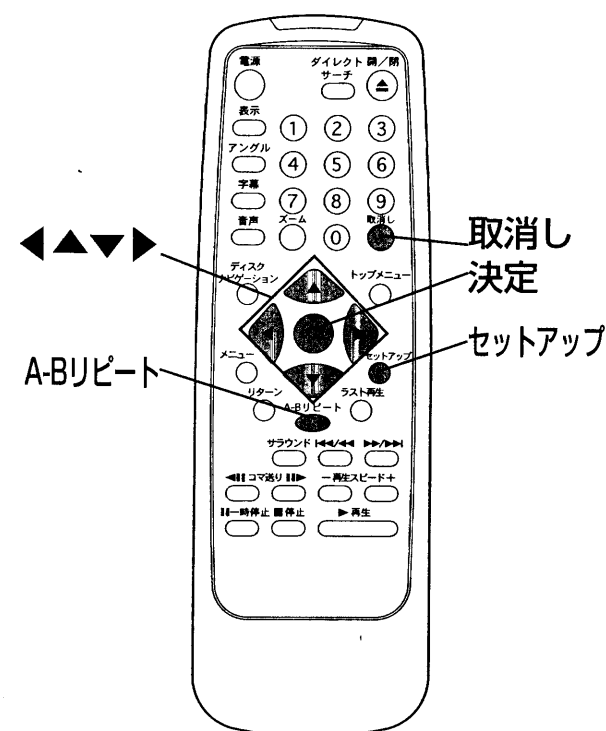
2 決定ボタンを押す

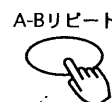
●指定したトラックを再生します。
●再生▶ボタンでも再生が始まります。

メモ

●トラック番号を入力したあと▶ボタンを押すと、表示窓が時間入力モードなって、H、M、Sが点滅します。数字ボタンで時間を入力し、決定ボタンを押すと、指定したトラックの指定した時間から再生します。時間は、そのトラックの始まりからの時間です。
●CDでは停止中にスキップ ▶▶/▶▶| |◀◀/◀◀ボタンを押すと表示窓にトラック番号が表示されます。希望するトラック番号を選び、再生 ▶ボタンを押すとそのトラックが再生されます。
●PBC対応ビデオCDでは、表示窓にPBCが表示されます。この場合は、本ページの操作はできません。
●PBC機能を使わないで再生するときは、メニューボタンを押してください。表示窓のPBCが消えて、ダイレクトサーチができるようになります。PBCに戻すには、もう一度メニューボタンを押してください。22

繰り返して再生する（リピート再生）

再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返して再生することができます。
また、指定した箇所を繰り返して再生することもできます。

指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終わりでA−Bリピートボタンを押す

●A-Bリピートボタンをもう一度押すとキャンセルされます。

リピート再生を止める

取消しボタンを押す

●リピート再生を終了し、再生はそのままつづきます。
●停止■ボタンを押すとリピート再生を終了し、停止します。

ご注意

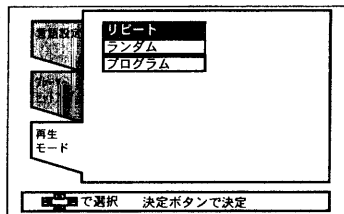
●ディスクや場面によっては、リピート再生ができないものがあります。
●ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生をしたとき（PBC再生）、ディスクリピートやトラックリピートをすることができません。

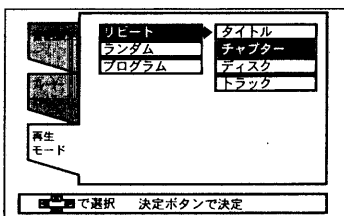
ディスク、タイトル、チャプター、トラックをリピート再生する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

●セットアップ画面が表示されます。

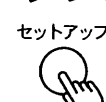
2 ◀▲▼▶ ボタンで再生モードを選ぶ

3 ◀▲▼▶ボタンでリピートを選ぶ

4 ◀▲▼▶ボタンでリピート再生したい項目を選び、決定ボタンを押す

●表示窓にREPEATが表示されます。
再生中の場合は…
再生中のタイトル／チャプター／トラックに関するリピート再生を始めます。
停止中の場合は…
タイトル／チャプター／トラックサーチ25、27によりリピート再生したいタイトル／チャプター／トラックを選び、再生を始めます。
●ディスクを選択するとディスク全体（ビデオCD、CD）をリピート再生します。
●再生▶ボタンでも再生が始まります。

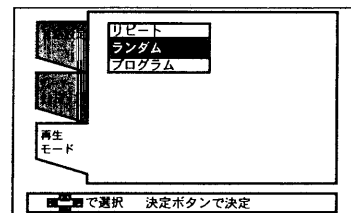
順不同で再生する（ランダム再生）

ディスクのタイトル、チャプター、トラックを本機が順不同に並べ変えて再生します。
すべての再生が終わると停止します。

ランダム再生する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ボタンで再生モードのランダムを選択する

3 決定ボタンを押す

●表示窓にRANDOMが表示され、ランダム再生を始めます。

■ランダム再生中に

● ▶▶/▶▶| ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶチャプター／トラックが再生されます。
● |◀◀/◀◀ ボタンを押すと、ひとつ前に再生したチャプター／トラックに戻ります。

メモ

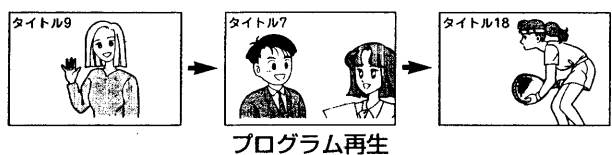
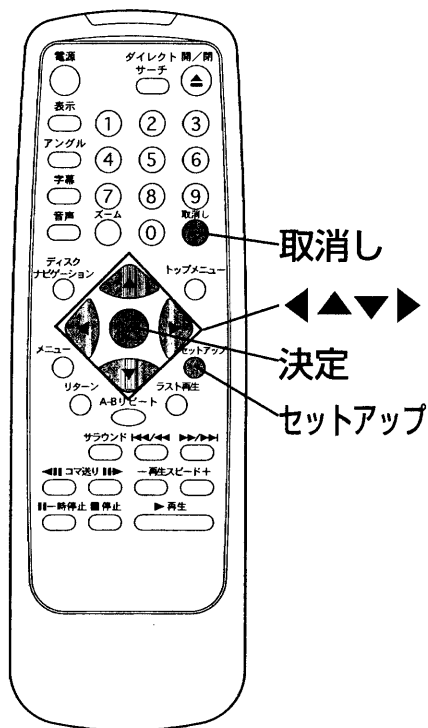
●ディスクによっては、ランダム再生できないものや途中で停止するものがあります。
●ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合（PBC再生）、ランダム再生をするとPBCが解除されます。22
●プログラムした内容をランダム再生することはできません。
●ランダム再生では、最大99のチャプター／トラックを再生します。

ランダム再生を止める

取消しボタンを押す

●ランダム再生を終了し、現在再生しているチャプター／トラックのあとを順番に再生していきます。
●停止■ボタンを押すとランダム再生を終了し、停止します。

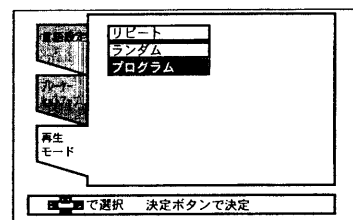
お好みの順番で再生する（プログラム再生）

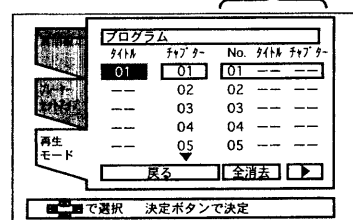
お好みの順番で再生することができます。プログラムする内容はディスクによって異なります。
（DVDではタイトルとチャプター、ビデオCD、CDではトラック）

プログラム再生

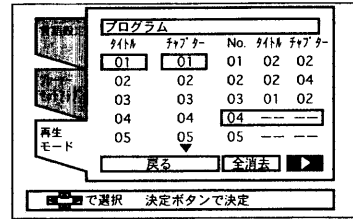
プログラムを設定する

1 セットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ボタンで再生モードのプログラムを選び、決定ボタンを押す

3 ◀▲▼▶ボタンでお好みのタイトルとチャプターを選び、決定ボタンを押す

プログラムリスト

●この操作を行うごとに、ひとつずつプログラムリストに登録されます。
●ビデオCD、CDのときは、トラックを選びます。

4 ◀▲▼▶ボタンで ▶（再生）を選び、決定ボタンを押す

●表示窓にPROGRAMが表示され、プログラム再生を始めます。
●再生 ▶ ボタンでも再生が始まります。

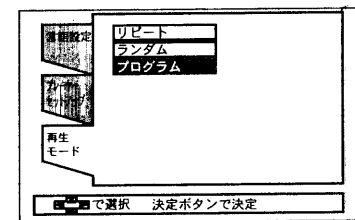
メモ

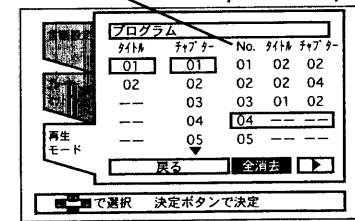
●ビデオCD、CDのときは多少画面が異なります。
●タイトル、チャプター、プログラム、全消去、再生の各位置へ移動するには▶ ボタンを使います。
●プログラムは最大99ステップです。
●設定したプログラム再生が終了すると停止状態になります。
●ディスクによっては、プログラム再生できないものや、途中で停止するものがあります。
●ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合（PBC再生）、プログラム再生すると、PBCが解除されます。22

プログラムをすべて消す

1 セットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ ボタンで再生モードのプログラムを選び、決定ボタンを押す

3 ◀▲▼▶ボタンで全消去を選び、決定ボタンを押す

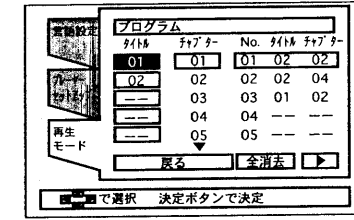
プログラムNo.　プログラムリスト

●セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。
●ひとつずつ消すには、プログラムリストから◀▲▼▶ボタンで消したいプログラムNo.を選び、取消しボタンを押します。

●ビデオCDをメニュー画面を表示して再生したとき（PBC時）、プログラム再生をすることができません。
●チャプターの移り変わりのときに、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。

プログラムを確認する

1 セットアップボタンを押す

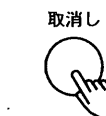
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ ボタンで再生モードのプログラムを選び、決定ボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

3 確認が終了したらセットアップボタンを押す

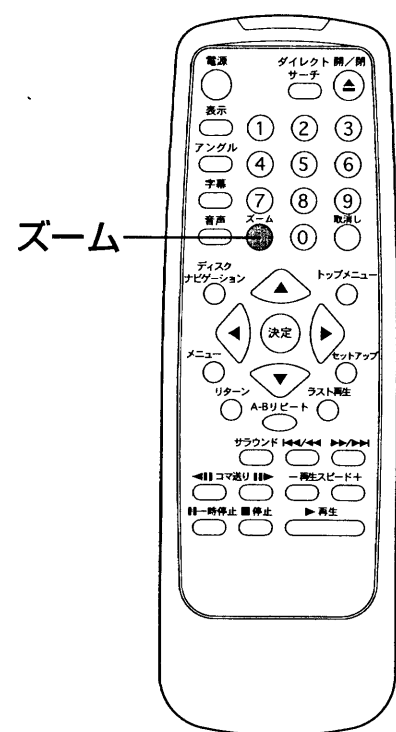
●セットアップ画面を終了します。

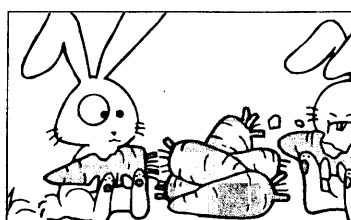
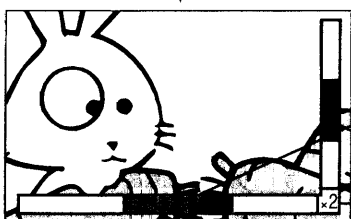
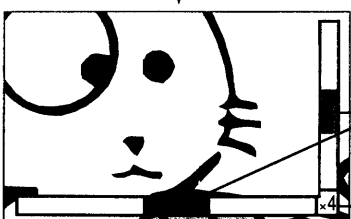
プログラム再生を止める

取消しボタンを押す

●プログラム再生を終了し、現在再生されているプログラムのあとを順番に再生していきます。
●停止■ボタンを押すとプログラム再生を終了し、停止します。

画面の一部を拡大する（ズーム）

DVD VCD

画面の一部を2倍、4倍と拡大することができます。

再生中にズームボタンを押す

●ボタンを押すごとに画面が切り換わります。
●画面に拡大位置表示と倍率表示が表示されます。

●ズーム再生中に◀▲▼▶ボタンを押すと、拡大位置を変更することができます。
●数字ボタン（①～⑨）でも拡大位置を変更することができます。

① 左上	② 上	③ 右上
④ 左	⑤ 中央	⑥ 右
⑦ 左下	⑧ 下	⑨ 右下

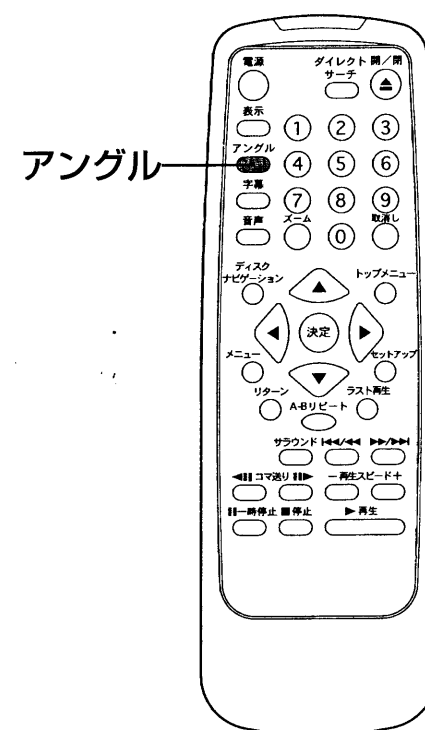
ご注意

●ズームすると、通常の画面では気にならない部分も拡大されるため、画質は劣化します。2倍よりも4倍の方が画質は劣化します。
●ズーム中は、画像がゆれることがあります。

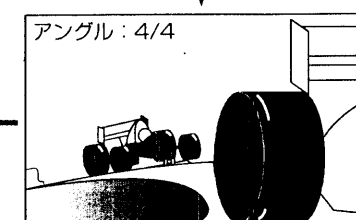
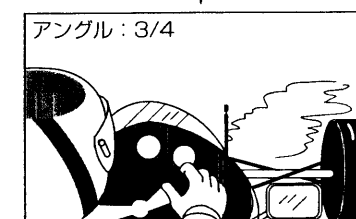
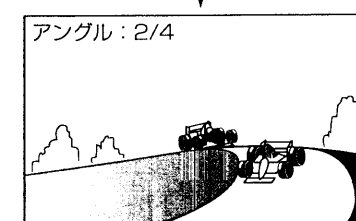
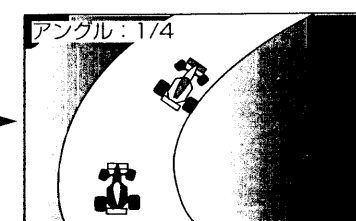
メモ

●取消しボタンを押すと、拡大位置表示が消えます。
●ビデオCDは、4倍ズームにすることができません。
●ビデオCDの高精細静止画はズームできません。
●字幕やメニューの選択表示などは拡大されません。
●ディスクや場面によっては、ズームできない場合があります。

見たい方向からの映像を選ぶ（アングル）

複数の方向から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

再生中、表示窓にANGLEが点滅しているとき、アングルボタンを押す

●ボタンを押すごとに画面が切り換わります。
●画面に選択されているのアングル番号が表示されます。

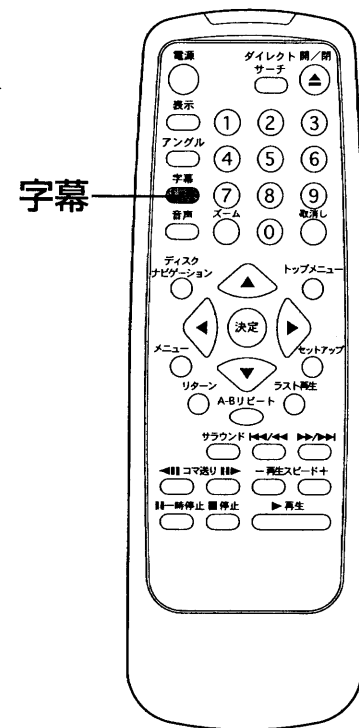
例　4つのアングルが記録されている場合

分母…記録されているアングルの総数を示します。
分子…選択されているアングル番号を示します。

メモ

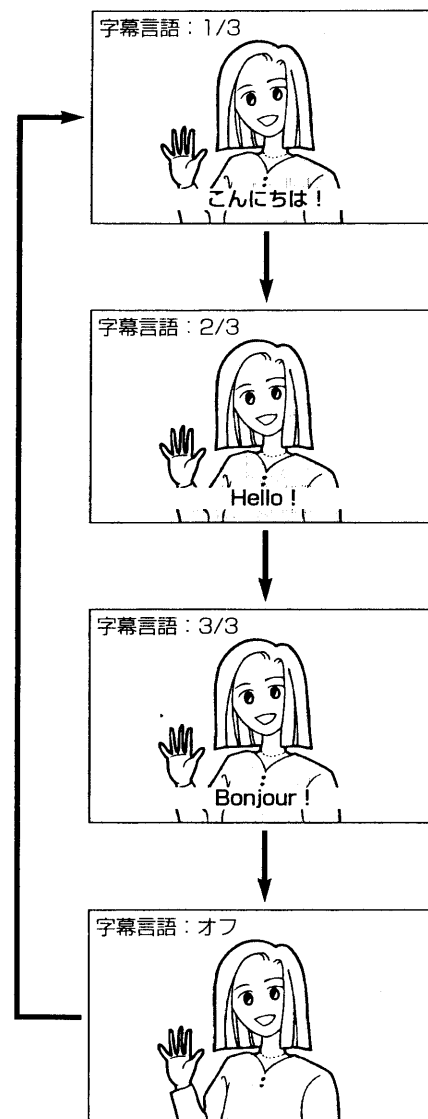
●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。また、複数のアングルが記録されているディスクでも表示窓のANGLEが点滅していないときは切り換えができません。
●アングルボタンを押してからアングルが切り換わるまで数秒かかります。
●ディスクによっては、ANGLEが点滅しているときにも、アングル切り換えできないものがあります。

字幕言語を選ぶ

DVD

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

再生中に字幕ボタンを押す

●ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。
●画面に選択されているの字幕言語番号が表示されます。

例　3つの字幕言語が記録されている場合

分母…記録されている字幕言語の総数を示します。
分子…選択されている字幕言語番号を示します。
オフ…字幕言語を表示しません。

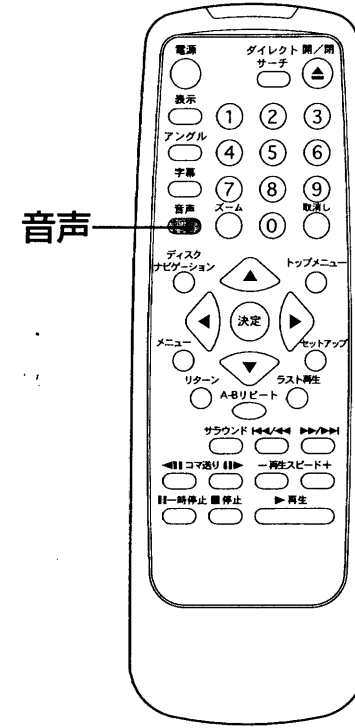
メモ

●字幕言語が切り換わらないときは、字幕が記録されていない、または1つしか記録されていないためです。
●ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、メニューボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。22
●ディスクによっては、メニュー画面でしか字幕言語を選べないものがあります。
●セットアップボタンを押して表示されるセットアップ画面でも字幕言語を選ぶことができます。42

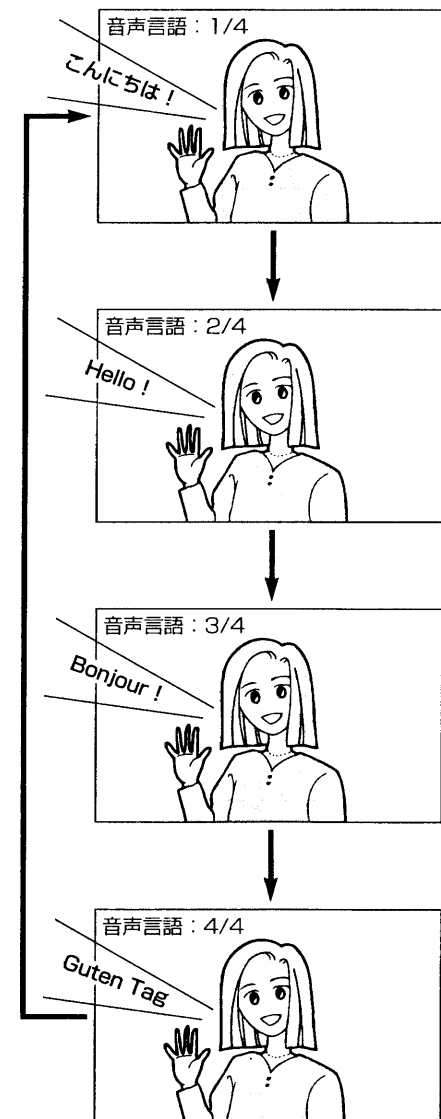
音声言語を選ぶ

DVD

複数の音声言語が記録されたDVDでは、音声言語を選ぶことができます。音声言語に限らず、ひとつの映像に複数の種類の音声が記録されているディスクで聞きたい音声を選ぶことができます。

音声

再生中に音声ボタンを押す

●ボタンを押すごとに音声言語が切り換わります。
●画面に選択されている音声言語番号が表示されます。

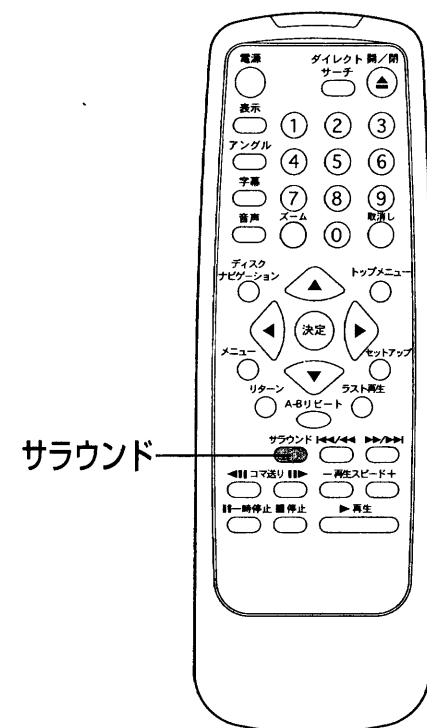
例　4つの音声言語が記録されている場合

分母…記録されている音声言語の総数を示します。
分子…選択されている音声言語番号を示します。

メモ

●DVDには、ドルビーデジタルやLPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好きな音声言語をお楽しみください。
●DTS音声を選択すると音声が出ません。DTS音声の再生には、DTSデコーダーかDTSデコーダー搭載アンプが必要です。
●音声言語が切り換わらないときは、1つしか記録されていないためです。
●ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、メニューボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。22
●ディスクによっては、メニュー画面でしか音声言語を選べないものがあります。
●セットアップボタンを押して表示されるセットアップ画面でも音声言語を選ぶことができます。40
●ビデオCD、CDのときに音声ボタンを押すと、L、R、L/Rの切り換えになります。37

バーチャルサラウンド音声で再生する

DVD (VCD CD)

本機を接続するオーディオシステムやテレビが、通常の2つのスピーカーのステレオであっても、ドルビーデジタル5.1チャンネルで収録されたDVDを、5つのスピーカーがあるかのように、バーチャルなサラウンド音声で再生します。

バーチャルサラウンド音声で再生する

1 DVDを再生する

2 ドルビーデジタル5.1チャンネルの音声を選ぶ

3 再生中にサラウンドボタンを押す

サラウンド

●ボタンを押すごとにバーチャルサラウンドオンとオフに切り換わります。
●オンのときは表示窓にVIRTUALが点灯し、画面に「サラウンド　オン」と表示されます。

メモ

●バーチャルサラウンドは、DVDの、5.1チャンネルなどのマルチチャンネルで収録されたドルビーデジタル音声だけで働きます。
●ディスクや場面によっては、バーチャルサラウンド効果がわかりにくいことがあります。
●バーチャルサラウンドは、2つのスピーカーの中央線上で一番効果があります。

●テレビやオーディオシステムのサラウンド機能は「切」にしてお使いください。
●ワイドステレオは、2チャンネルステレオの広がり感を豊かにするものです。

ドルビーデジタル5.1チャンネル以外の音声やビデオCD、CDの場合

サラウンド

●ボタンを押すごとに、ワイドステレオオンとオフに切り換わります。
●オンのときは、表示窓にVIRTUALが点灯し、画面に「サラウンド　オン」と表示されます。

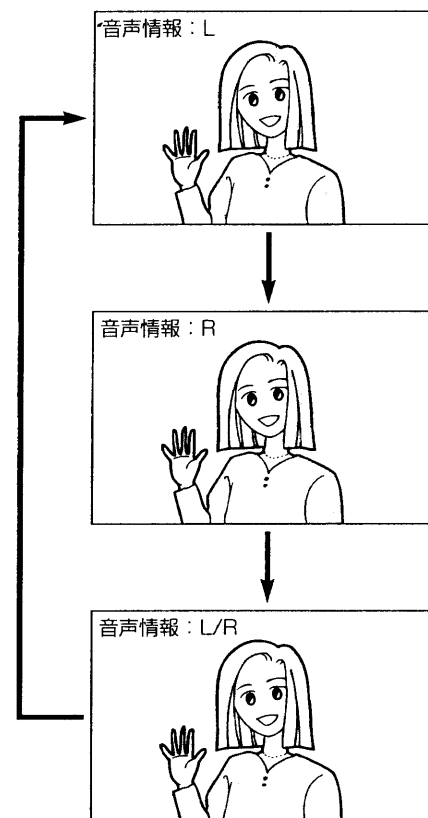
音声を切り換える

VCD CD

お好みの音声に切り換えることができます。

再生中に音声ボタンを押す

音声

●ボタンを押すごとに音声が切り換わります。
●画面に選択されている音声情報が表示されます。

L ……Lch（左）の音声が左右両方のスピーカから出ます。
R ……Rch（右）の音声が左右両方のスピーカから出ます。
L/R …Lch（左）の音声が左のスピーカから、Rch（右）の音声が右のスピーカから出ます。

メモ

●DVD再生中に音声ボタンを押すと、音声言語の切り換えになります。35

情報を見る

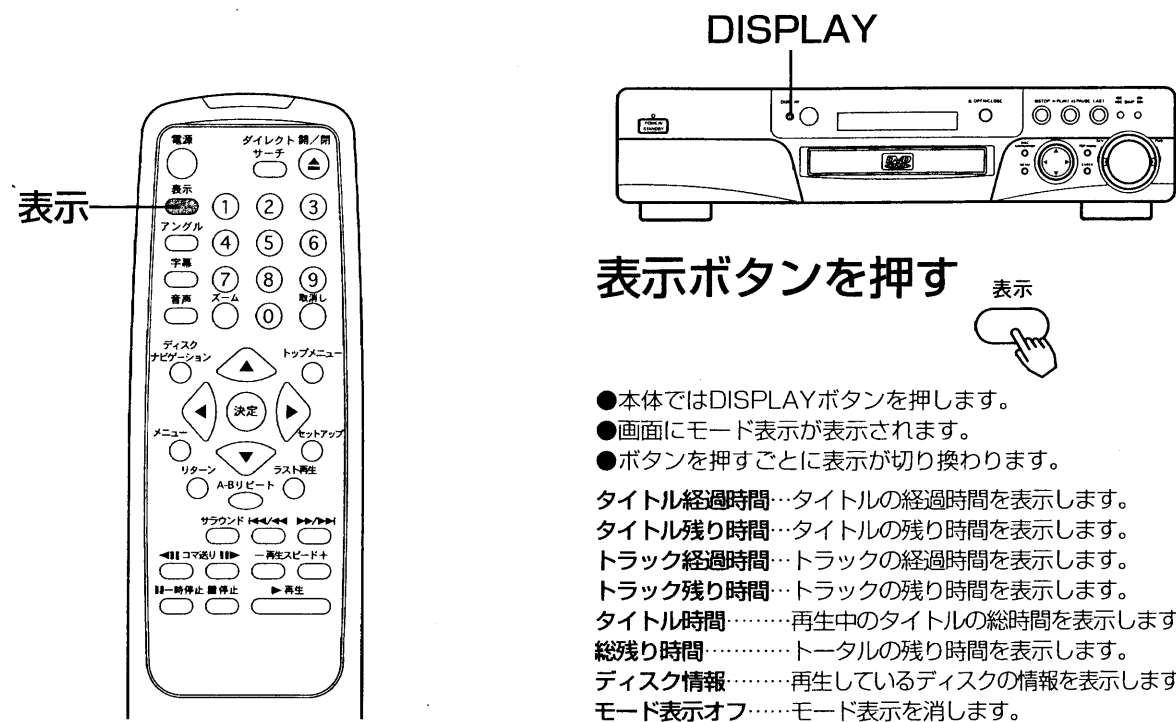
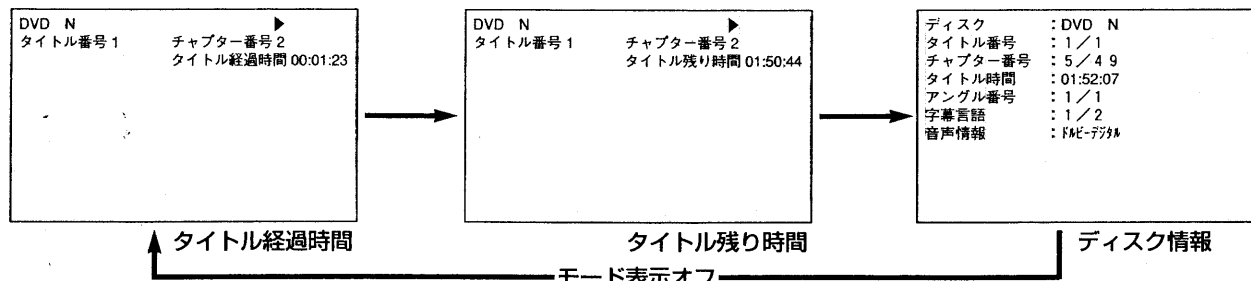
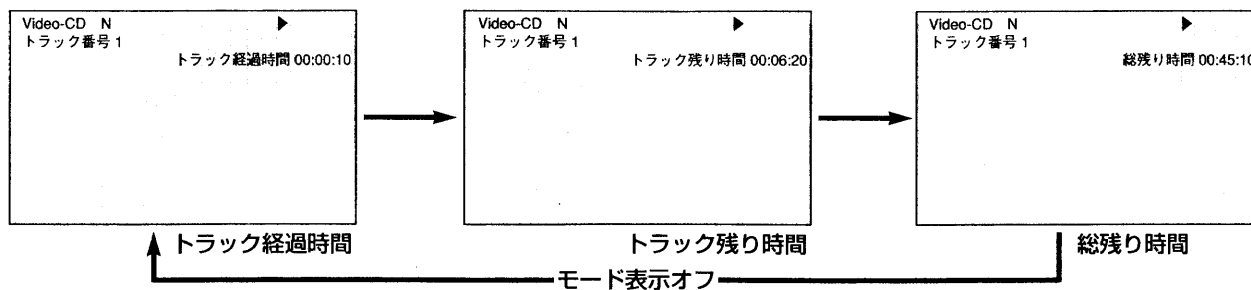
DVD VCD CD

ディスクの再生状態やいろいろな時間表示を表示することができます。
時間表示はディスクによって異なります。

DISPLAY

表示ボタンを押す

●本体ではDISPLAYボタンを押します。
●画面にモード表示が表示されます。
●ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

タイトル経過時間…タイトルの経過時間を表示します。
タイトル残り時間…タイトルの残り時間を表示します。
トラック経過時間…トラックの経過時間を表示します。
トラック残り時間…トラックの残り時間を表示します。
タイトル時間………再生中のタイトルの総時間を表示します。
総残り時間…………トータルの残り時間を表示します。
ディスク情報………再生しているディスクの情報を表示します。
モード表示オフ……モード表示を消します。

DVDのとき

ビデオCD、CDのとき

ご注意

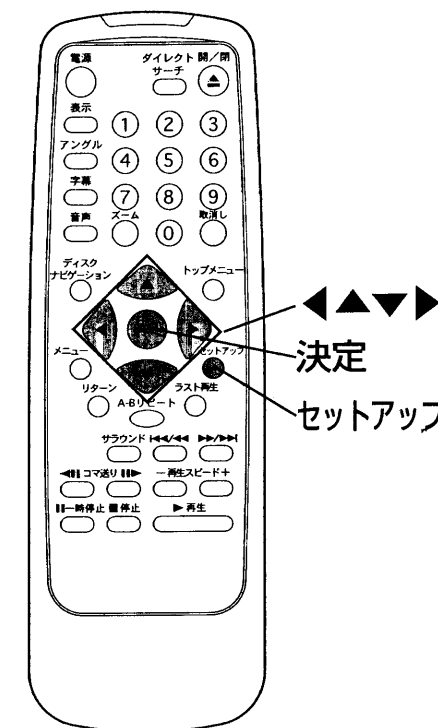
●ディスクによっては時間を表示しないものがあります。
●本体のDISPLAYボタンで操作するとタイトル／トラック経過時間は表示されません。
●本体の表示窓をオフにすることはできません。
●PBC対応ビデオCDの場合、トラック番号は表示されません。

メモ

●時間表示やディスク情報表示をしているときに▶ ボタンを押すと、タイトル／チャプター／トラックサーチのモードになります。 25
●表示ボタン（本体ではDISPLAYボタン）でモード表示をオフにしても、再生モードが変わるとタイトル／トラック番号（T）やチャプター番号（C）が約5秒間自動的に表示されます。

ワイドテレビ用ソフトを設定する

DVD

通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形（アスペクト比）を設定します。

1 停止中にセットアップボタンを押す

セットアップ

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ボタンでプレーヤーセットアップを選ぶ

3 ◀▲▼▶ボタンでビデオ設定のTV出力設定を選び、▶ ボタンを押す

4 ◀▲▼▶ ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

決定

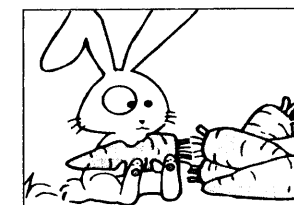
●セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

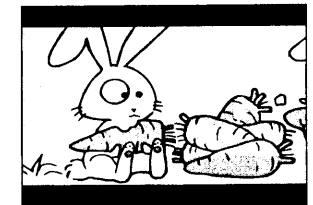
メモ

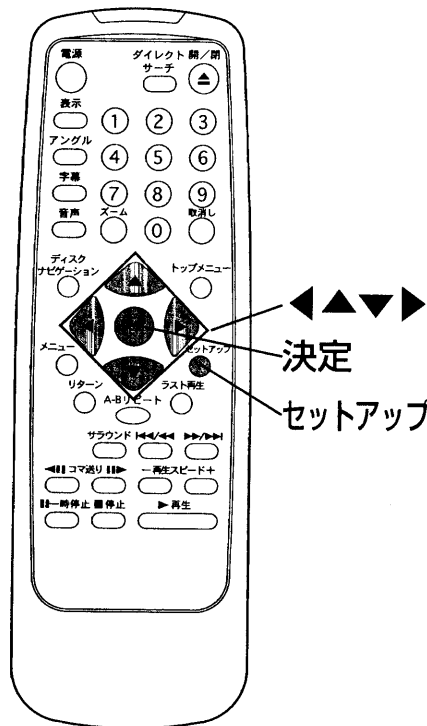
●通常のテレビは横4：縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16：縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。
●お手持ちのテレビがワイドテレビやハイビジョンテレビの場合は、本機のTV出力設定をワイドTVに設定してください。
●お手持ちのテレビが通常の4：3のテレビの場合は、レターボックスかパンスキャンに設定してください。
●DVDによっては、パンスキャンモード、レターボックスモードに対応していないものもあります。

ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

パンスキャンモードでは、上下の高さに合わせて映し出します。

●元の映像の左右が欠けます。

レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。

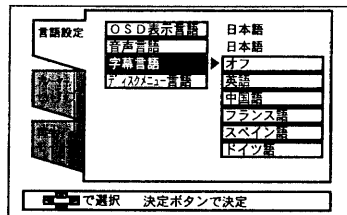
●上下の余った部分が帯状になります。

字幕言語／音声言語を設定する

複数の字幕言語や音声言語が記録されたDVDのために、セットアップ画面で字幕言語や音声言語を設定することができます。

1 停止中にセットアップボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

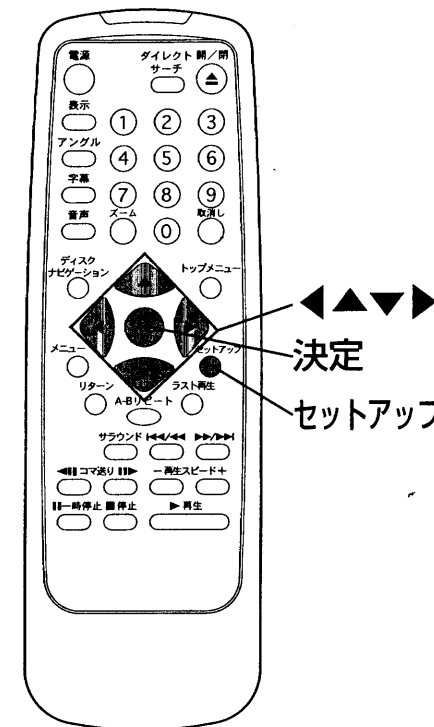
2 ◀▲▼▶ボタンで言語設定の字幕言語、または音声言語を選び、▶ボタンを押す

3 ◀▲▼▶ボタンでお好みの字幕言語、または音声言語を選び、決定ボタンを押す

●セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

メモ

●再生中に字幕ボタンを押しても、字幕切り換えができます。34
●再生中に音声ボタンを押しても、音声切り換えができます。35
●セットアップ画面には、ディスクに記録されている字幕言語を表示します。日本語、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語以外の字幕言語は、言語一覧表46の番号を表示します。
●字幕言語や音声言語を選択してもディスクにその言語が記録されていないときには、その言語の字幕や音声は再生されません。
●ディスクによっては、セットアップ画面で選んだ字幕言語や音声言語にならないものがあります。その場合は、メニューボタンやトップメニューボタンでディスクのメニュー画面を出して、字幕言語や音声言語を選んでください。

視聴制限を設定する（パレンタルロック）

視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなど子供に見せたくない部分を飛ばしてみることができます。

1 停止中にセットアップボタンを押す

セットアップ

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ボタンでプレーヤーセットアップを選ぶ

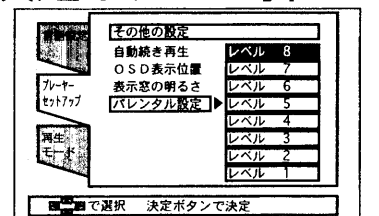
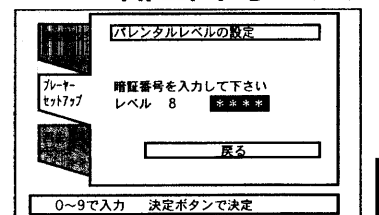
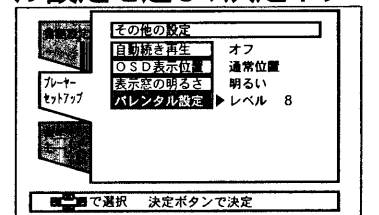
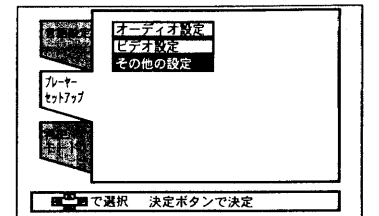
3 ◀▲▼▶ボタンでその他の設定のパレンタル設定を選び、決定ボタンを押す

●暗証番号入力画面が表示されます。

4 数字ボタンで暗証番号を入力する

●パレンタルレベル設定画面が表示されます。
●暗証番号を間違えると、パレンタルレベル設定画面へ進みません。もう一度、暗証番号を入力してください。
●パレンタルレベルを変えないときは、▼ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押してください。

5 ◀▲▼▶ボタンで設定したいパレンタルレベルを選び、決定ボタンを押す

●プレーヤーセットアップ画面に戻ります。

■初めてお使いになるとき

初めてお使いになるときは、暗証番号が設定されていません。暗証番号欄には0000が表示され、決定ボタンを押すとパレンタルレベル設定画面が表示されます。

■暗証番号を登録するには

暗証番号入力画面（右の4）で4桁の数字を入力します。数字は次回からは表示されません。

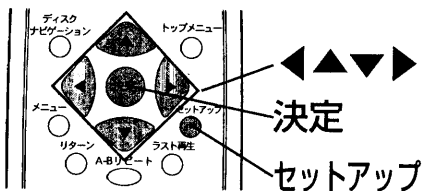
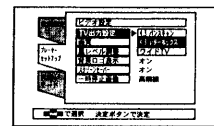
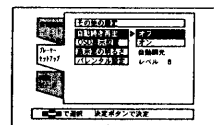
■暗証番号を解除するには

暗証番号入力画面（右の4）でリターンボタンを続けて4回押します。0000が表示され、初期状態になります。

メモ

ディスクによってはパレンタルロックがかからないものがあります。

さまざまな設定を変更する

DVD　VCD　CD

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

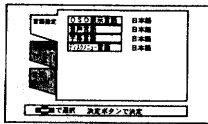
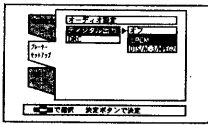
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▲▼▶ボタンで設定したい画面を選ぶ

（画面1）

（画面2）

（画面3）

（画面4）

3 ◀▲▼▶ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

●セットアップボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

区分	項目	内容	初期状態（工場出荷時）	設定	画面
言語設定	①OSD表示言語	モード表示とセットアップ画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	日本語	英語	画面1
言語設定	②ディスクメニュー言語（DVDのみ）	指定した言語でディスクのメニューを表示します。指定した言語に対応していないディスクの場合は、そのディスクが対応している言語の中から自動的に選択されます。この設定は停止中のみ可能です。	日本語	希望する言語を指定します。46	画面1
プレーヤーセットアップ／オーディオ設定	③デジタル出力	本機のデジタル音声出力端子から出力する音声を変更できます。 DVDの音声には、DTSやドルビーデジタル（映画館で使用される立体的な音声、ドルビーデジタルはAC-3ともいいます）、MPEGオーディオ、LPCMがあります。 **DTS/AC-3/MPEG2** DTSやドルビーデジタルやMPEGオーディオをそのままのデジタル信号で出力します。 **LPCM** ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの信号で出力します。DTSは出力しません。 （下表参照） この設定は、停止中のみ可能です。	**LPCM** 通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプ、MD、DATなどのデジタル入力端子と接続する場合。	**DTS/AC-3/MPEG2** それぞれの方式のデコーダーやデコーダー搭載アンプのデジタル入力端子と接続するとき。 **オフ** デジタル出力は出力されません。48kHz 20/24ビットLPCMのDVDと96kHz LPCMのDVDの音声を、高音質で音声出力端子から出力するときは、この設定にしてください。デジタル出力の設定が「オフ」以外の時は、DVDの音声出力端子からの音声は、48kHz 16ビットにダウンサンプリングされて再生されます。	画面2

再生ディスク	DTS/AC-3/MPEG2選択時の出力	「LPCM」選択時の出力
48kHz,16ビットLPCM (DVD)	48kHz,16ビットLPCM	←
48kHz, 20/24ビットLPCM (DVD)	48kHz,16ビットLPCM	←
96kHzLPCM（DVD）	48kHz,16ビットLPCM	←
ドルビーデジタル（DVD）	ドルビーデジタルビットストリーム	48kHz,16ビットLPCM
DTS（DVD）	DTSビットストリーム	なし
MPEGオーディオ（DVD）	MPEGビットストリーム	48kHz、16ビットLPCM
CD	44.1kHz、16ビットLPCM	←
ビデオCD	44.1kHz、16ビットLPCM	←

区分	項目	内容	初期状態（工場出荷時）	設定	画面
プレーヤーセットアップ／オーディオ設定	④DRC（DVDのみ）	ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジコントロールのことです。お手持ちのステレオシステムやテレビで映画の中の会話などが聞きづらい場合、オンに設定します。	**オフ** 広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。	**オン** ダイナミックレンジを圧縮します。DVDによっては効果のない場合があります。	画面2
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑤TV出力設定	接続するテレビのアスペクト比を設定します。 この設定は、停止中のみ可能です。	4：3レターボックス（通常のテレビ）	4：3パンスキャン（通常のテレビ） ワイドTV	画面3
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑥画質	映像出力端子から出力される映像の画質を変更できます。	ノーマル	シャープ ソフト	画面3
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑦黒レベル調整	映像出力端子から出力される映像の黒色の画質を変更できます。	0 IRE（少し暗い）	7.5 IRE（明るい）	画面3
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑧背景ロゴ表示	セットアップ画面や停止中の背景を設定します。	オン（ロゴ）	オフ	画面3
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑨スクリーンセーバー	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。スクリーンセーバーはいずれかの操作ボタンを押すと解除されます。	**オン** スクリーンセーバーが機能する	**オフ** スクリーンセーバーが機能しない	画面3
プレーヤーセットアップ／ビデオ設定	⑩一時停止画像	静止画再生中に画面が揺れる場合は、「フリッカーレス」にしてください。画面の揺れがおさまります。この設定は出力フォーマットがNTSCまたはAUTOに設定され、DVDをNTSCフォーマットで再生中のみ可能です。	高精細	オートセレクト フリッカーレス	画面3
プレーヤーセットアップ／その他の設定	⑪自動続き再生	電源ON時にディスクが入っていると前回再生を停止したところから自動的に再生します。	オフ	オン	画面4
プレーヤーセットアップ／その他の設定	⑫OSD表示位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、モード表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでもモード表示をみることができるようになります。	通常位置	オフ 下げる	画面4
プレーヤーセットアップ／その他の設定	⑬表示窓の明るさ	表示窓の明るさを変更します。 →明るい→暗め→暗い→自動→	明るい	暗め 暗い 自動	画面4
プレーヤーセットアップ／その他の設定	⑭パレンタル設定（DVDのみ）41	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。 視聴制限コードが記録してあるディスクを再生する場合、視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。本機は、日本に対する視聴制限コードが記録されているディスクに対して機能しますので、ディスクによってはパレンタルレベルを変えてもパレンタルロックがかからない場合があります。パレンタルロックをかけると、視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなどで子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの取扱説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとパレンタルレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。 この設定は、停止中のみ可能です。	初期状態はLEVEL8です。		画面4

■ディスクメニュー言語を日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語など表示される22ヶ国語以外にするには、ディスクメニュー言語の選択画面で

1.◀▲▼▶ボタン操作で[その他]を選ぶ
2.言語一覧表 46 から希望する言語名に対応する番号を数字ボタンで4桁入力する
3.決定ボタンを押す

■設定を初期状態（工場出荷時）に戻す（この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。）

パレンタルレベルの暗証番号、セットアップ情報、ラスト再生のメモリーなどのすべての設定を初期状態（工場出荷時）に戻すには、電源ONの状態で、本体のSTOP■ボタンを押しながらPOWER/STANDBYボタンを一度押して離し、STOP■ボタンはそのまま15秒ほど押しつづけてください。[Video CD]、[CD]、[DVD]の点滅が点灯に変わると完了です。

出力フォーマットを変更する

DVD VCD

ビデオ信号の出力フォーマットを変更することができます。
この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。

◀▲▼▶ボタン PLAY/PAUSE

(ご注意)
●DVDのリージョンコードが本機のリージョンコードと異なる場合は動作しません。
●DVDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力することはできません。
●ビデオCDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力するとき、若干縦長の画面になります。

メモ NTSC、PAL、PAL60フォーマットについて

日本では、ほとんどのテレビ受像機がNTSCフォーマットに対応しているので、この変更は不要です。（このDVDプレーヤーは、工場出荷時にNTSCフォーマット出力に設定してあります。）

NTSCフォーマット、PAL、PAL60フォーマットとは
テレビ信号の規格のことです。この規格に合うように、テレビ放送の信号、テレビ受像機などが作られております。ちなみに、日本、アメリカ合衆国などは、NTSCフォーマットを採用しており、ヨーロッパ、アジアの国々がPALフォーマットを採用しております。
両フォーマットの間に、互換性はありません。
例えば、NTSCフォーマットの信号をPALフォーマット対応のテレビ受像機に入力しても、うまく画像がでません。

メモ 工場出荷の設定に戻すには（この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。）

電源ON状態で本体のSTOP■ボタンを押しながら、POWER/STANDBYボタンを一度押して離し、STOP■ボタンはそのまま15秒以上押しつづけると工場出荷の設定（NTSC出力）に戻ります。表示窓の[Video CD]、[CD]、[DVD]が点滅から点灯に変わると完了です。このときはその他の情報（言語、字幕、ラスト再生のメモリーなど）も工場出荷の設定に戻ります。43

電源ON状態で5秒以上前面のPLAY/PAUSE ▶/❚❚ ボタンと▲ボタンを同時に押す

●表示窓に現在の出力フォーマットが約5秒間表示されます。
n ………NTSCモード
P ………PALモード
P60 …PAL60モード
A ………AUTOモード

表示が出ている間に▲ボタンを押す

●▲ボタンを押すごとに出力フォーマットが切り換わります。

→NTSC→PAL→PAL60→AUTO┐

●出力フォーマットを選んだあと、表示が消えるまで待ちます。
●表示が消えたら、POWER/STANDBYボタンを押して一度電源をオフにし、もう一度オンしてからお使いください。

NTSCモード
ビデオCDのPALディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。DVD、ビデオCDのNTSCディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。

PALモード
DVD、ビデオCDのNTSCディスクでもPALディスクでもPALフォーマットで出力されます。

PAL60モード
DVD、ビデオCDのNTSCディスクの場合、PAL60モードで出力されます。PALディスクは、PALモードで出力されます。

AUTOモード
DVD、ビデオCDのNTSCディスクをかけた時はNTSCフォーマットで、PALディスクをかけた時はPALフォーマットで出力します。

言語一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7384	イタリア	8376	スロベニア
6566	アブハジア	7387	ヘブライ	8377	サモア
6570	アフリカーンス	7465	日本語	8378	ショナ
6577	アムハラ	7473	イディッシュ	8379	ソマリ
6582	アラビア	7487	ジャワ	8381	アルバニア
6583	アッサム	7565	グルジア	8382	セルビア
6588	アイマラ	7575	カザフ	8385	スンダ
6590	アゼルバイジャン	7576	グリーンランド	8386	スウェーデン
6665	バシキール	7577	カンボジア	8387	スワヒリ
6669	ベロルシア（白ロシア）	7578	カナダ	8465	タミル
6671	ブルガリア	7579	韓国（朝鮮）語	8469	テルグ
6672	ビハール	7583	カシミール	8471	タジク
6678	ベンガル（バングラ）	7585	クルド	8472	タイ
6679	チベット	7589	キルギス	8473	ティグリニア
6682	ブルターニュ	7665	ラテン	8475	トルクメン
6765	カタロニア	7678	リンガラ	8476	タガログ
6779	コルシカ	7679	ラオ	8479	トンガ
6783	チェコ	7684	リトアニア	8482	トルコ
6789	ウェールズ	7686	ラトビア（レット）	8484	タタール
6865	デンマーク	7771	マダガスカル	8487	トウイ
6869	ドイツ	7773	マオリ	8575	ウクライナ
6890	ブータン	7775	マケドニア	8582	ウルドゥー
6976	ギリシャ	7776	マラヤーラム	8590	ウズベク
6978	英語	7778	モンゴル	8673	ベトナム
6979	エスペラント	7779	モルダビア	8679	ヴェラピュック
6983	スペイン	7782	マラッタ	8779	ウォロフ
6984	エストニア	7783	マライ（マレー）	8872	コーサ
6985	バスク	7784	マルタ	8979	ヨルバ
7065	ペルシャ	7789	ミャンマー	9072	中国語
7073	フィンランド	7865	ナウル	9085	ズールー
7074	フィジー	7869	ネパール		
7079	フェロー	7876	オランダ		
7082	フランス	7879	ノルウェー		
7089	フリジア	7982	オーリヤ		
7165	アイルランド	8065	パンジャブ		
7168	（スコットランド）ゲール	8076	ポーランド		
7176	ガリチア	8083	パシュト		
7178	グアラニー	8084	ポルトガル		
7185	グジャラト	8185	ケチュア		
7265	ハウサ	8277	レトロマンス		
7273	ヒンディー	8279	ルーマニア		
7282	クロアチア	8285	ロシア		
7285	ハンガリー	8365	サンスクリット		
7289	アルメニア	8368	シンド		
7365	インターリングア	8372	セルボクロアチア		
7378	インドネシア	8373	シンハラ		
7383	アイスランド	8375	スロバキア		

用 語

■ドルビーデジタル（AC-3）
DVDに記録されている圧縮されたデジタル音声のひとつです。DVDには普通のステレオ音声をドルビーデジタルで記録したディスクや最大5チャンネルのサラウンド音声と低音専用チャンネルをドルビーデジタルで記録したディスクがあります。
本機では、サラウンド音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するほか、バーチャルサラウンドでも楽しめます。
本機のデジタル出力端子をドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■DTS（Digital Theater System）
DVDに記録される圧縮されたデジタル音声のひとつです。本機のデジタル出力端子を、DTSデコーダーやデコーダー内蔵アンプのデジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。本機単独ではDTSの再生はできません。

■LinearPCM（Pulse Code Modulation）
CDやDVDの圧縮されていないデジタル音声のことです。

■MPEGオーディオ
MPEG方式の圧縮により記録されたデジタル音声のことです。ビデオCDやDVDに使われています。

■タイトル
DVDに記録されている映像や曲の一番大きな単位のことです。それぞれのタイトルに付けられた番号のことをタイトル番号といい、このタイトル番号が記録されているディスクでは、タイトル番号を選んで再生するタイトルサーチなどの操作ができます。

■チャプター
DVDに記録されている映像や曲のタイトルより小さい単位のことです。それぞれのチャプターに付けられた番号のことをチャプター番号といい、このチャプター番号が記録されているディスクでは、チャプター番号を選んで再生するチャプターサーチなどの操作ができます。

■トラック
CDやビデオCDに記録されている映像や曲のことです。それぞれのトラックに付けられた番号のことをトラック番号といい、このトラック番号が記録されているディスクでは、トラック番号を選んで再生するトラックサーチなどの操作ができます。

■ビデオCD
VHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる"プレイバックコントロール（PBC）"対応のディスクがあります。

■プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC付きビデオCDに記憶されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

■高精細静止画
ビデオCDのなかに高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で楽しむことができます。

■スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。これを避けるため、スクリーンセーバーが用いられています。一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一箇所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

■マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですがすべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影した画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルといいます。

■アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

■パレンタルレベル
英語の綴りでは、PARENTALです。これは、PARENT（親、両親）からきています。これから解るように、親が子に見せたくない映像に制限がついているものです。

■字幕言語
映画などでおなじみの字幕言語です。DVDでは字幕の言語を最大32ヶ国分記録することができ、その中からお好みの言語を選んで楽しむことができます。

■リージョンコード
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている再生可能地域番号にプレーヤーの再生可能地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機の再生可能地域番号は2番です。

故障かな？と思ったら

電源プラグがはずれていたりすると故障と間違えることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店、または「ご相談窓口一覧表」49 のご相談窓口にお問い合わせください。

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが正しく接続されていない。	14
映像がでない、映像が乱れる	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。 ●本機をテレビに直接接続してください。また、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピーガードの働きにより画像が乱れることがあります。	14 10 14
音が出ない、雑音が多い	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●一時停止、またはスロー再生、または高速再生になっている。 ●デジタル出力の設定が適切でない。 ●DTS音声を選択している	14 10 19 42 43 35
リモコンで操作できない	●リモコンと本体との距離が離れすぎている。 ●リモコン受信窓との角度がありすぎる。 ●リモコンの乾電池が消耗している。 ●リモコン受信窓に直射日光など強い光が当たっている。	11
DVDの映像をVTRに録画すると再生映像が乱れる	●本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRに録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
再生できない	●ディスクが正しくセットされていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機で再生できないディスクを入れている。 ●本体の内部が結露している。 ●パレンタルロックがかかっている。 ●ディスクのリージョンコードが異なっている。	16 10 9 7 43 9
いろいろな再生ができない	●DVDではディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。ディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。	
DVDの字幕言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。 ●ディスクによって操作が禁止されている。	34
DVDの音声言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ●ディスクによって操作が禁止されている。	35
DVDのアングルを変更できない	●再生している場面に複数のアングルが記録されていない。 ●ディスクによって操作が禁止されている。	33
DVDを最初から再生できない	●停止、再生すると最初から再生しないディスクもあります。メニューボタンやトップメニューボタンで操作してください。	22 23
メニュー画面が英語で表示される	●OSD表示言語の設定が適切でない。	42
ビデオCDのメニュー画面が表示されない	●PBC対応でないビデオCDを再生している。 ●PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。 ●PBCがオフになっている。	9 22

（ご注意）

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、本体のPOWER/STANDBYボタンを押してください。POWER/STANDBYボタンを押して20秒程待ってもSTANDBY状態（STANDBYインジケーターが赤、表示窓が全消灯）にならないときは、本体のLASTボタンとENTERボタンを同時に約5秒間押し続けてください。STANDBY状態になります。その後、POWER/STANDBYボタンを押して、お使いください。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ。

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記の（相談）窓口または（修理）窓口にご相談ください。

●お買物相談やお取り扱いについてのご相談は………（相談）窓口を担当する**お客様相談センター**へ

●修理などアフターサービスに関するご相談は………（修理）窓口を担当する**エコーセンター**又は**サービスセンター**へ

お客様相談センター・サービスセンター

北海道地区

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	北海道地区	北海道	(011)231-5088	札幌市白石区東札幌2条4丁目1-10
修理	北海道地区	北海道	(011)833-1725	
相談 修理	北海道	札幌	(011)833-1725	札幌市白石区東札幌2条4丁目1-10
相談 修理		旭川	(0166)35-5222	旭川市東光10条3丁目4-14
相談 修理		北見	(0157)23-2266	北見市常盤町3-2-21
相談 修理		釧路	(0154)25-3357	釧路市新橋大通1-1-5
相談 修理		帯広	(0155)22-5504	帯広市緑ヶ丘2条通り1-2-7
相談 修理		小樽	(0134)22-3500	小樽市長橋2-10-1
相談 修理		苫小牧	(0144)36-5165	苫小牧市住吉町2-5-2
相談 修理		室蘭	(0143)45-3122	室蘭市中島町3-14-13
相談 修理		函館	(0138)41-9106	函館市亀田町7-12

東北地区

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	東北地区	東北	(022)222-5088	仙台市青葉区片平1-3-30
修理	東北地区	東北	(022)237-2311	仙台市宮城野区扇町3-2-9
相談 修理	青森県	青森	(0177)34-2134	青森市青柳1-16-4
相談 修理		むつ	(0175)22-1194	むつ市緑町17-56
修理		弘前	(0172)27-2171	弘前市外崎4-2-3
相談 修理		八戸	(0178)27-6610	八戸市大字根城字白山平1-7
相談 修理	岩手県	岩手	(019)635-2123	盛岡市東仙北1-12-12
修理		水沢	(0197)25-3811	水沢市東中通り2-4-38
相談 修理	宮城県	宮城	(022)232-5263	仙台市宮城野区扇町3-2-9
修理		古川	(0229)22-1579	古川市古川字上古川150
相談 修理		石巻	(0225)75-2229	桃生郡河南町鹿又道的前499-1
相談 修理	秋田県	秋田	(018)847-5171	秋田市土崎港相染町字沖谷地151-1
相談 修理		大館	(0186)42-1962	大館市御成町3-1-9
修理		県南	(0187)62-5166	大曲市福住町4-16
相談 修理	山形県	山形	(023)688-8551	山形市蔵王松ヶ丘1-1-33
相談 修理		庄内	(0234)22-3740	酒田市東町1-7-1
相談 修理	福島県	いわき	(0246)23-0691	いわき市平塩字古川95
相談 修理		福島	(024)535-3391	福島市春日町14-33
相談 修理		原町	(0244)22-5332	原町市栄町3-41
相談 修理		郡山	(0243)33-5211	安達郡本宮町大字荒井字長山79
相談 修理		会津若松	(0242)24-1771	会津若松市西七日町6-15

関東・甲信越地区（東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、静岡県富士川以東）

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	関東・甲信越地区	東京	(03)3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
修理	関東・甲信越地区	東京	(047)382-1111	浦安市港77-3
修理	東京都	東京エコーセンター	(03)3422-2511	足立区千住関屋町11-1
相談		北東京	(03)3879-2939	足立区千住関屋町11-1
相談		西東京	(03)3973-2295	豊島区西池袋4-23-11
相談		南東京	(03)3424-8511	世田谷区三軒茶屋2-48-8
相談		三鷹	(0422)49-8088	三鷹市上連雀7-32-32
修理	神奈川県	神奈川エコーセンター	(045)825-2201	横浜市戸塚区品濃町531-1
相談		横浜	(045)824-7712	横浜市戸塚区品濃町531-1
相談		厚木	(0462)50-0020	厚木市長谷260-27
修理	埼玉県	埼玉エコーセンター	(048)663-8355	大宮市東大成町2-246
相談		大宮	(048)667-4584	大宮市東大成町2-246
相談		越谷	(0489)79-7311	越谷市大杉458-3
相談		三芳	(0492)58-3021	入間郡三芳町上富1828-1
修理	千葉県	東関東エコーセンター	(043)212-8241	千葉市花見川区幕張町1-7681
相談		千葉	(043)271-2142	千葉市花見川区幕張町1-7681
相談		柏	(0471)63-2450	柏市中央2-9-16
相談		船橋	(0474)31-5444	船橋市高瀬町62-10
相談		銚子	(0479)23-1222	銚子市唐子町21-3
相談		東金	(0475)52-1270	東金市福俵3-397
相談		木更津	(0438)37-1611	木更津市潮浜1-17-29
相談		館山	(0470)22-4151	館山市八幡66-1
修理	茨城県	東関東エコーセンター	(043)212-8241	千葉市花見川区幕張町1-7681
相談		水戸	(029)226-2223	水戸市水府町1548
相談		日立	(0294)22-4162	日立市幸町2-2-10
相談		鹿嶋	(0299)82-4411	鹿嶋市神向寺大芝311-1
相談		土浦	(0298)43-2716	土浦市荒川沖字一里塚5-102
修理	栃木県	北関東エコーセンター	(048)652-2092	埼玉県大宮市東大成町2-246
相談		宇都宮	(028)660-2305	宇都宮市御幸が原町40-5
修理	群馬県	北関東エコーセンター	(048)652-2092	埼玉県大宮市東大成町2-246
相談		高崎	(027)362-8377	高崎市飯塚町1379
修理	山梨県	東京エコーセンター	(03)3422-2511	足立区千住関屋町11-1
相談		山梨	(055)274-5833	中巨摩郡田富町流通団地1-8-2
相談 修理	長野県	長野	(026)259-0051	長野市南長池763-3
相談 修理		松本	(0263)58-3236	松本市芳川村井町1280-1
相談 修理	新潟県	新潟	(025)247-3177	新潟市紫竹山5-5-29
相談 修理		佐渡	(0259)63-4175	佐渡郡金井町泉1031-6
相談 修理		長岡	(0258)24-4579	長岡市東蔵王2-7-37
相談 修理		上越	(0255)24-7171	上越市栄町6-4
修理	静岡県（富士川以東）	神奈川エコーセンター	(045)825-2201	横浜市戸塚区品濃町531-1
相談		沼津	(0559)32-3711	沼津市上香貫槇島町1354-2
相談	静岡県（富士川以西）	静岡	(054)289-2030	静岡市豊田3-6-27
相談 修理		浜松	(053)422-7151	浜松市篠ヶ瀬町1255

お客様相談センター・サービスセンター

中部地区（愛知、岐阜、三重、静岡県富士川以西、富山、石川、福井）

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	中部地区	中部	(052)795-5088	名古屋市守山区川宮町55
修理			(052)354-0546	名古屋市中川区篠原橋通1-1
修理	愛知県	中部エコーセンター	**(052)354-0546**	名古屋市中川区篠原橋通1-1
相談		名古屋東	(052)795-1831	名古屋市守山区川宮町55
相談		名古屋西	(052)354-3011	名古屋市中川区篠原橋通1-1
相談		三河	(0564)28-0855	岡崎市大樹寺2-12-6
相談		豊橋	(0532)64-6710	豊橋市東田町151-1
修理	岐阜県	中部エコーセンター	**(052)354-0546**	名古屋市中川区篠原橋通1-1
相談		岐阜	(058)273-5111	岐阜市宇佐南2-3-8
修理		高山	(0577)32-4351	高山市岡本町3-176
修理		東濃	(0572)68-1010	瑞浪市明世町山野内字沼305-1
修理	三重県	中部エコーセンター	**(052)354-0546**	名古屋市中川区篠原橋通1-1
相談		北三重	(0593)34-1111	四日市市羽津中2-1-6
相談		南三重	(0596)58-9053	度会郡玉城町佐田字銚子口1820-1
修理	静岡県（富士川以東）	神奈川エコーセンター	**(045)825-2201**	横浜市戸塚区品濃町531-1
相談		沼津	(0559)32-3711	沼津市上香貫槇島町1354-2
相談 修理	静岡県（富士川以西）	静岡	(054)289-2030	静岡市豊田3-6-27
相談 修理		浜松	(053)422-7151	浜松市篠ヶ瀬町1255
相談 修理	富山県	富山	(0764)52-1615	富山市向新庄857-1
相談 修理	石川県	石川	(076)246-7373	石川郡野々市町堀内5-20
相談 修理	福井県	福井	(0776)54-7730	福井市高木中央1-1402

関西地区

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	関西地区	関西	(078)431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
修理			(06)6686-5611	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
修理	大阪府	関西エコーセンター	**(06)6686-5611**	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
相談		京阪	(0720)85-3640	門真市大字岸和田1551
相談		北大阪	(06)6453-1900	大阪市福島区海老江1-5-79
相談		阪南	(0722)73-5088	堺市鳳東町7-771
修理	奈良県	関西エコーセンター	**(06)6686-5611**	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
相談		奈良	(0743)64-2712	天理市二階堂上ノ庄町342-1
修理	兵庫県	関西エコーセンター	**(06)6686-5633**	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
相談		神戸	(078)431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
相談		西神	(078)961-0435	神戸市西区平野町下村251
相談		姫路	(0792)33-1688	姫路市飾磨区構4-81
相談		阪神	(0727)81-5088	伊丹市昆陽3-254
修理		豊岡	(0796)22-7141	豊岡市桜町15-15
修理	京都府	関西エコーセンター	**(06)6686-5633**	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
相談		京都	(075)321-5826	京都市右京区西京極豆田町17
相談 修理		福知山	(0773)23-2802	福知山市字堀1965-2
修理	滋賀県	関西エコーセンター	**(06)6686-5633**	大阪市住之江区柴谷1-1-71（日立家電大阪南ビル）
相談		滋賀	(077)545-5088	大津市玉野浦2-1
相談		彦根	(0749)25-4188	彦根市川瀬馬場町1010-1
相談 修理	和歌山県	和歌山	(0734)77-4188	和歌山市井ノ口543-1
修理		田辺	(0739)22-6014	田辺市稲成町字沖代80-2
修理		新宮	(0735)22-6355	新宮市下田2-3-12

中国地区（鳥取、島根、岡山、広島、山口）

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	中国地区	中国	(082)221-5088	広島市中区八丁堀16-14（第2広電ビル）
修理			(082)281-2462	安芸郡府中町茂陰1-9-20
相談 修理	鳥取県	鳥取	(0857)28-5721	鳥取市千代水3-106
相談 修理	島根県	山陰	(0852)23-2131	松江市西津田2-2-5
相談 修理		浜田	(0855)28-2137	浜田市下府町388-40
相談 修理	岡山県	岡山	(086)293-4711	岡山市延友189-3
相談 修理		津山	(0868)22-9337	津山市小原109
相談 修理	広島県	広島	(082)233-1221	広島市西区観音新町1-7-17
相談 修理		備後	(0849)34-1160	福山市高西町川尻110-1
相談 修理		呉	(0823)72-1456	呉市阿賀中央3-1-7
相談 修理	山口県	山口	(0839)72-1111	吉敷郡小郡町大字上郷字仁保津5220
相談 修理		東山口	(0833)41-1300	下松市大字末武下789-3

四国地区

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	四国地区	四国	(0877)47-1088	坂出市林田町4285-143
修理			(0877)47-3133	坂出市林田町4285-143
相談 修理	徳島県	徳島	(088)665-6411	徳島市応神町古川字日の上15-2
相談 修理	香川県	香川	(0877)47-3135	坂出市林田町4285-143
相談 修理	愛媛県	愛媛	(089)979-1170	松山市内宮町2007
修理		宇和島	(0895)22-2619	宇和島市栄町港3-3-13
相談 修理		東予	(0897)40-4181	新居浜市萩生字岸ノ下1150-4
相談 修理	高知県	高知	(0888)44-4156	高知市朝倉西町2-5-5

九州・沖縄地区

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
相談	九州・沖縄地区	九州	(092)281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）
修理			(092)606-2831	福岡市東区和白丘2-1-1
修理	福岡県	福岡エコーセンター	**(092)606-0707**	福岡市東区和白丘2-1-1
相談		福岡	(092)501-1545	福岡市博多区諸岡3-21-28
相談		北九州	(093)592-7507	北九州市小倉北区篠崎1-4-8
相談		筑豊	(0948)82-1302	嘉穂郡庄内町大字仁保字草場178
相談		久留米	(0942)34-4505	久留米市野中町1440-1
相談		大牟田	(0944)52-3311	大牟田市天領町1-201
相談 修理	佐賀県	佐賀	(0952)25-3115	佐賀市鍋島町大字八戸3181
相談 修理		唐津	(0955)72-7174	唐津市町田1863-3
相談 修理	長崎県	長崎	(095)887-3379	西彼杵郡長与町高田郷1275-1
相談 修理		佐世保	(0956)32-4211	佐世保市山祇町329-4
相談 修理		五島	(0959)72-2883	福江市下大津町724-7
相談 修理	熊本県	熊本	(096)362-2143	熊本市春竹町春竹500
修理		八代	(0965)33-2095	八代市田中西町10-10
修理		天草	(0969)22-3196	本渡市今釜新町3444
修理	大分県	福岡エコーセンター	**(092)606-0707**	福岡市東区和白丘2-1-1
相談		大分	(097)533-0196	大分市豊海5-4-12
相談		中津	(0979)24-5711	中津市大字下池永字北原564-1
相談		佐伯	(0972)23-2521	佐伯市中村南町9-5
相談 修理	宮崎県	宮崎	(0985)39-4811	宮崎市大字芳士589-1
相談 修理		延岡	(0982)37-7350	延岡市旭ヶ丘6-1-24
相談 修理		都城	(0986)26-3131	都城市菖蒲原町24-2-5
相談 修理	鹿児島県	鹿児島	(099)250-8350	鹿児島市宇宿2-8-2
相談 修理		川内	(0996)22-6121	川内市御陵下町3294
相談 修理		鹿屋	(0994)43-2168	鹿屋市新生町10-4
相談 修理	沖縄県	那覇	(098)862-9670	那覇市字安謝620-187

●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください）

修理を依頼されるときは（出張修理）

48ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDプレーヤー
形　　名	DV-P300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電　話　番　号	
訪問ご希望日	

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　月　日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

DVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

愛情点検

●電源コード、プラグが異常に熱くなる。

●画像が乱れたり、きれいに映らない。

●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。